

2025年度

(2025年4月1日から)
(2026年3月31日まで)

第15期事業報告書

目 次

I	2025年度事業の概要	1
1.	消費者啓発・情報提供活動	1
2.	学術振興事業	2
3.	調査・研究活動	2
II	2025年度事業別活動状況	3
I	消費者啓発・情報提供活動	3
1.	生活設計・生活保障に関する教育活動	3
(1)	中学校向け活動	3
(2)	高等学校向け活動	4
(3)	大学向け活動	4
(4)	社会人向け活動	5
(5)	教員向け活動	6
2.	消費者団体等との連携・交流活動	7
(1)	消費生活相談員等への情報提供	7
(2)	消費者団体及び各種団体等との交流・連携	8
3.	情報提供活動	9
(1)	ホームページ	9
(2)	動画による情報提供	10
(3)	各種小冊子による情報提供	11
(4)	相談対応活動	12
(5)	広報活動	13
(6)	「各社個人保険商品一覧」の作成	14
II	学術振興事業	15
1.	保険研究の活性化に向けた取組み	15
(1)	研究会の運営	15
(2)	研究者への支援	16
(3)	学術振興委員会	17
2.	学術交流の促進に向けた取組み	17
(1)	保険学セミナー・保険学セミナー懇談会<東京、大阪>	17
(2)	講演会	18
3.	情報提供活動	18
(1)	生命保険論集	18
(2)	生命保険判例集	18
(3)	保険事例研究会レポート	19
(4)	WEB版「生命保険用語英和・和英辞典」のメンテナンス	19
4.	関連諸学会との連携	19

Ⅲ 調査・研究活動	20
1. 調査活動	20
(1) 「生活保障に関する調査」(第17回)の実施	20
(2) 「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」(第3回)の 企画・検討	21
(3) 個票データの学術的活用促進	22
2. 研究機能の強化	22
Ⅳ その他	23
Ⅴ 諸会議開催状況	24
Ⅵ 運営体制の充実を図るための取組み	26

資 料 編

1. 第63回中学生作文コンクール都道府県別応募状況・入賞者数一覧	29
2. 生命保険実学講座開催状況一覧	30
3. 生命保険学習会開催状況一覧	43
4. 相談員勉強会開催状況一覧	45
5. 相談内容別件数(一般相談)	47
6. 新聞・テレビ等からの取材対応	48
7. 研究会の開催状況	49
8. 研究助成者・研究テーマ一覧	52
9. 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会の開催状況	54
10. 生命保険論集の掲載状況	56
11. 個票データの学術的活用状況	59

I 2025年度事業の概要

我が国は、少子高齢化・人口減少等の構造変化やコロナ禍の経験等によるライフスタイルの多様化等が進行し、加えて、自然災害の頻発や激甚化、国際的な緊張の高まりや経済環境の変動等により、国民のリスク全般に対する意識と社会保障制度への関心は一層高まっている。このような中、当センターに期待される役割はますます重要になっているとの認識のもと、2025年度の事業を推進した。

消費者啓発・情報提供活動においては、自助・共助・公助や民間保険、リスク管理等といった中学校・高等学校の学習指導要領の内容や、18歳を迎えると成人となり自立や責任が伴うことなどを踏まえ、中学生・高校生・大学生向けの生活設計・生活保障教育の更なる拡充を図った。また、学生からシニア層までの各世代に対応したより実践的な教育・啓発に取り組むとともに、ホームページや小冊子等を通じた適切な情報提供に努めた。学術振興事業においては、研究会運営や研究助成等の研究者への支援を通じて、生命保険に関する研究の活性化に注力するとともに、保険学セミナー等の開催・運営による学術交流の促進に取り組んだ。調査・研究活動においては、第17回となる「生活保障に関する調査」を実施するとともに、2026年度に実施する第3回「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」の企画案を策定した。

1. 消費者啓発・情報提供活動 [公益目的事業1、一部共益事業※]

<2025年度基本方針>

- (1) 生命保険実学講座や生命保険学習会等の講師派遣において、引き続き、対面による講座だけではなく、リアルタイムの双方向によるオンライン講座や動画を録画したオンデマンド方式の講座といった非対面による講座を選択肢として提供するとともに、ホームページや小冊子、YouTube や X (旧 Twitter) といった SNS を活用した啓発・情報提供活動を積極的に行う。
- (2) 「中学生作文コンクール」については、2024年度(第62回)は応募校数779校・応募作品数26,241編となった。引き続き、中学生作文コンクールに取り組む学校へのサポートツールとしての動画提供や中学生向け授業の活用等を通じ、あわせて周辺団体と連携した広報活動を行うことにより、中学生作文コンクールの更なる普及・浸透を図る。
- (3) 学校教育用副教材や生命保険実学講座について、学習指導要領の内容や、18歳を迎えると成人となり自立や責任が伴うことなどを踏まえ、また、教員との懇談会や教員対象セミナー、教員対象勉強会等を通して、中学校社会科・家庭科教員及び高等学校家庭科・公民科教員との接点を拡大し副教材に関する情報収集を行うことにより、学校現場の実状に即したより効果的なものとする。また、2023年11月に生保業界と損保業界で締結した保険教育に関する包括連携協定に基づき、両業界で共同作成した高等学校向け新教材の活用促進に積極的に取り組む。

- 中学校から大学までの生徒・学生を対象に、当センター職員が講師となり、生活設計・生活保障に関する基礎知識を伝える「生命保険実学講座」は、全国各地で725回(2024年度:689回)実施した。学校からの要請に応じて、Zoom等を活用した双方向によるオンライン講座や講義を収録した動画を提供するオンデマンド講座を実施した(725回のうち、オンライン講座26回、オンデマンド講座49回)。

* オンライン講座・オンデマンド講座の詳細については、5ページ参照。

- 第63回「中学生作文コンクール」において、全国の中学校733校から26,986編(2024年度(第62回):応募校数779校・応募作品数26,241編)の応募があった。引き続き、中学生向け副読本「生命保険って何だろう?」や、サポートツールの動画を提供することなどにより、中学生作文コンクールの普及・浸透を図った。また、教員だけではなく、生徒への直接周知を図るため、生徒向けの案内チラシを作成し、希望する学校へ広く配布した。

- 2023年11月に生命保険協会及び日本損害保険協会と締結した「保険教育に関する包括連携協定」に基づき、日本損害保険協会と共同で作成した高等学校向けカードゲーム教材「ソナソナ」について、全国の高等学校に案内を行い、希望する学校・教員に3,591セット無償提供した。

	生命保険実学講座	生命保険学習会	相談員勉強会	ホームページアクセス件数	消費者向け小冊子頒布部数
2023年度	661回	99回	70回	736万件	10万部
2024年度	689回	91回	76回	749万件	10万部
2025年度	725回	83回	69回	534万件	10万部

* 上記実施回数のうち、①オンライン講座として実施したのは、生命保険実学講座26回、生命保険学習会14回、相談員勉強会7回、合計47回、②オンデマンド講座として実施したのは、生命保険実学講座49回、生命保険学習会11回、相談員勉強会1回、合計61回。

2. 学術振興事業 [公益目的事業2、一部共益事業※]

<2025年度基本方針>

- (1) 広く「保険」を対象とした研究活動の活性化を推進するとともに、生活保障におけるプロテクションギャップなど生命保険事業の中長期的な課題に関する研究をテーマとした新研究会を立ち上げる。また、既存の各種研究会への若手研究者の参加促進に積極的に取り組み、保険研究者の裾野の拡大及び生命保険に関する研究の活性化を支援する。
- (2) 各種研究会に加え、保険学セミナー、国内外の有識者による講演会、研究助成者の優秀論文表彰式等の場を通じ、産学の接点をより充実させ、学術交流・学際交流の促進に取り組む。その運営にあたっては、開催方式（対面、オンライン及びその併用）の利点を考慮しつつ、状況に応じて柔軟に実施する。

- 「生活保障におけるプロテクションギャップと生命保険事業に関する研究会」を含む各種研究会を、若手研究者の参加促進を図りつつ運営するとともに、若手研究者を中心とした研究支援として13件の研究助成を実施するなど、保険研究者の裾野の拡大に注力した。
- 研究会等については、開催方式の利点を考慮しつつ、対面及びオンラインで開催した。学術交流の促進についても、保険学セミナー及び同懇談会を状況に応じて対面及びオンラインで実施した。また、過去に接点のあった保険周辺分野の若手研究者に向けて保険学セミナー入会案内等の勧奨活動を実施した。

3. 調査・研究活動 [公益目的事業3]

<2025年度基本方針>

- (1) 「生活保障に関する調査」(第17回)について、4~5月に実査を行い、10月に速報版、2026年1月に報告書を発行する。
- (2) 2026年度に予定している「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」(第3回)について今後の対応を検討し、必要に応じて企画する。

- 「生活保障に関する調査」(第17回)については、4~6月に調査を実施し、10月に速報版、1月に報告書をそれぞれWeb版としてホームページに掲載した。
- 多様化する長寿社会に対する高年齢層の生活実態や意識等を把握するために3年毎に実施する「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」(第3回)の準備を行った。

※共益事業…公益目的事業（不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの）以外の事業

Ⅱ 2025年度事業別活動状況

I 消費者啓発・情報提供活動

〔公益目的事業1、一部共益事業〕

1. 生活設計・生活保障に関する教育活動

(1) 中学校向け活動

① 中学生向け生命保険実学講座

- 生活設計・生活保障に関する実践的教育の機会として、中学生向けの講座を展開した。社会科における講座では、新学習指導要領の内容を踏まえた副教材を活用した。また、国語科・家庭科・総合的な学習の時間における講座では、身近なリスクに備えることの大切さについて考えさせることを目的とした副教材を活用した。(全国で17校・32回(うち社会科1回、国語科3回、家庭科8回、総合学習その他20回)開催・受講者数2,059名)

② 「中学生作文コンクール」の実施

- 「わたしたちのくらしと生命保険」を課題に第63回中学生作文コンクールを実施し、全国の中学生に生命保険制度の役割や意義を考える機会を提供した(後援:文部科学省・金融庁・全日本中学校長会、協賛:生命保険協会)。
- 2025年5月中旬に応募要項等を全国の中学校に発送し、9月8日に応募を締め切り、733校から26,986編の作文が寄せられた。応募締切後、2次の審査を経て、10月7日に開催された最終審査委員会において、文部科学大臣賞1名、全日本中学校長会賞1名、生命保険文化センター賞1名、優秀賞5名の全国賞入賞者8名を決定した。
- 全国賞入賞者8名を東京に招いた表彰式及び懇親パーティーを11月21日に開催した。
- 全国賞入賞作品8編を掲載した作品集を2025年10月に作成し、生命保険各社に有償斡旋した結果、805部の申込みがあった。また、全国賞入賞作品8編に表彰式・懇親パーティーの様相や来賓の挨拶などを加えた入賞作品集を2026年2月に作成した。



[中学生作文コンクール 応募状況]

	応募校数		応募作品数	
		前年度比		前年度比
2023年度(第61回)	813校(8.1%)	87%	26,221編(0.82%)	88%
2024年度(第62回)	779校(7.8%)	96%	26,241編(0.83%)	100%
2025年度(第63回)	733校(7.5%)	94%	26,986編(0.87%)	103%

* 応募校数の()内は全国中学校数比、応募作品数の()内は全国中学校生徒数比。

* 都道府県別応募状況等は、後掲資料編29ページ参照。

③ 「教員との懇談会」実施による作文コンクール運営及び各種副教材等の検証・改訂

- オンラインにより、国語科教員との懇談会を実施した(1回)。中学生作文コンクール全般に関する情報収集として、学校における夏休みの課題の現状やポスター、各種サポートツール等について意見交換を行った。懇談会における意見を踏まえ、応募要項等の改訂を行った。

- 東京で対面とオンラインの併用により、社会科教員との懇談会を実施した（1回）。社会科向け副教材 50分授業セット「人生100年時代に必要な備えとは？」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 東京・大阪で対面とオンラインの併用により、高等学校家庭科教員との懇談会を実施した（各1回）。懇談会に参加した中高一貫校を含む各校の教員から意見を収集するとともに、中学校家庭科等（国語科・総合学習等含む）向け副教材 50分授業セット「リスクに備える」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。

（2）高等学校向け活動

① 高校生向け生命保険実学講座

- 家庭科向けには「リスク管理など不測の事態の対応」「預貯金や民間保険などの資金計画」、公民科向けには「自助、共助及び公助の重要性」といった学習指導要領の内容を踏まえた講座を開催した。また、18歳成人や契約、キャリア等をテーマとした副教材を活用した講座を積極的に展開した。学年単位の総合的な学習の時間においても、これらの講座を学校の要望に応じて開催した。（全国で122校・512回（うち家庭科247回、公民科14回、総合学習その他251回）開催・受講者数21,655名）

② カードゲーム教材「ソナソナ」の活用促進

- 2023年11月に生命保険協会及び日本損害保険協会と締結した「保険教育に関する包括連携協定」に基づき、日本損害保険協会と共同で作成した高等学校向けカードゲーム教材「ソナソナ」について、全国の高等学校に案内を行い、希望する学校・教員に3,591セット無償提供した。
- 本教材は、消費者教育支援センターが実施する「消費者教育教材資料表彰 2025」において優秀賞を受賞した。

③ 「教員との懇談会」実施による副教材の検証・改訂

- 東京で対面とオンラインの併用により、公民科教員との懇談会を実施した（1回）。公民科向け副教材 50分授業セット「自助・共助・公助について考えよう」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 家庭科教員との懇談会（前記（1）③）において、2種類の家庭科向け副教材 50分授業セット「生活設計とリスクへの備え」「事例から考えるリスクマネジメント」及び18歳成人や契約、キャリア等を切り口とした副教材 50分授業セット「成年になるということ」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 講義展開を自由にカスタマイズできるよう、中学校・高等学校向けの各種副教材を補足する参考スライド集（生命保険、社会保障制度、資産形成、働き方・キャリア、契約・消費者トラブルの計5種類）について、懇談会における意見を踏まえ、ブラッシュアップを図った。

（3）大学向け活動

① 大学生向け生命保険実学講座

- 大学生向け冊子「生活設計とリスク管理」を活用した講座を中心に、生命保険の基礎知識や年金、医療、介護といった専門的なテーマの講座を含めて開催した。（全国で大学では90校・143回開催・受講者数11,812名、短期大学では11校・12回開催・受講者数390名、専門学校では20校・26回開催・受講者数673名）

- そのうち、アクティブ・ラーニングを取り入れた講座資料や生活設計・社会保険・生命保険にそれぞれ特化した3種類の講義展開案を活用した講座として、4大学で4回実施した。
- ② 「教員との懇談会」実施による副教材及び講義展開案の検証・改訂
 - 東京で対面により、大学教員との懇談会を実施した（1回）。大学生向け冊子「生活設計とリスク管理」等の副教材の内容検証を行い、ブラッシュアップを図った。また、WEBフォームを活用した双方向性を意識した講座について検討を行い、講義展開案の更なる充実に取り組んだ。
- ③ 業界横断的な金融経済教育への取組み
 - 引き続き、金融経済教育推進機構（J-FLEC）で実施している金融関連団体連携による大学生向けの連携講座において、「リスクに備える」をテーマとして、23大学（24回）に講師派遣を行った。
 - * 上記記載の連携講座における講師派遣は、（3）大学向け活動 ①大学生向け生命保険実学講座の実績回数に含まれる。

<生命保険実学講座合計実績>

- 上記（1）～（3）のように、生命保険実学講座として、中学校、高等学校、大学、短期大学、専門学校生徒・学生に、生活設計・生活保障に関する基礎知識を学ぶ機会を提供することを目的に、教員の協力を得て講義時間の一部を利用して、当センター職員が講師となって実施した。（17中学校・122高等学校・90大学・11短期大学・20専門学校、計260校で725回開催、受講者数36,589名）
- 学校からの要請に応じて、Zoom等を活用した双方向によるオンライン講座や講義を収録した動画を提供するオンデマンド講座を実施した。260校で725回開催した生命保険実学講座のうち、オンライン講座は26回（1中学校で1回、6高等学校で15回、9大学で9回、1専門学校で1回）、オンデマンド講座は49回（2中学校で3回、6高等学校で32回、11大学で14回）であった。オンデマンド講座の動画は、迅速に汎用性の高いものを提供できるように、一定数の要請がある中学生向け、高校生向け、大学生向けにオンデマンド用定型動画を作成、活用している。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2023年度	661回	96%	31,543名	97%
2024年度	689回	104%	36,243名	115%
2025年度	725回	105%	36,589名	101%

* 生命保険実学講座の開催状況は、後掲資料編30～42ページ参照。

* 2025年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した16回分（9ページ「③生命保険協会地方事務室との連携」に記載）を含む。

（4）社会人向け活動

① 生命保険学習会の実施

- 全国各地の消費者行政機関・消費者団体等が主催する消費者向けの学習会と、企業・官公庁等が主催する従業員・職員向けの学習会に、生活設計・生活保障に関する正しい知識と、各年代層のニーズに適したより効果的な情報の提供を目的に、当センター職員を講師として派遣した。（全国で83回開催・受講者数5,295名）
- 主催者からの要請に応じて、83回開催した生命保険学習会のうち、オンライン講座は14回（消費者向け1回、従業員・職員向け13回）、オンデマンド講座は11回（消費者向け8回、従業員・職員向け3回）であった。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2023年度	99回	103%	4,444名	66%
2024年度	91回	92%	4,545名	102%
2025年度	83回	91%	5,295名	117%

* 2025年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した6回分(9ページ「③生命保険協会地方事務室との連携」に記載)を含む。

[学習会種類別の開催回数]

	消費者向け	従業員・職員向け	合計
2023年度	41回	58回	99回
2024年度	35回	56回	91回
2025年度	32回	51回	83回

* 生命保険学習会の開催状況は、後掲資料編43～44ページ参照。

② 若年社会人に対する教育

- 若年社会人向けの生活設計・生活保障教育の一環として、専門高校(農業・工業・商業高校等)等の主に卒業を控えた生徒や保健所・保健センター等を通じた子育て世代を対象に、高校生向けと子育て世代向けの2種類に分冊している電子版冊子「ほけんのキホン for Beginners」を活用した解説講座を開催した。(全国で専門高校等の主に卒業を控えた生徒等に向けた講座として21校・41回開催・受講者数2,346名、子育て世代向けに2回開催・受講者数198名)

* 上記記載の「専門高校等の主に卒業を控えた生徒を対象とした講座」は、(2)高等学校向け活動 高校生向け生命保険実学講座及び(3)大学向け活動 大学生向け生命保険実学講座に、「子育て世代向けの講座」は、(4)社会人向け活動 消費者向けと従業員・職員向けの生命保険学習会の実績回数に含まれる。

③ 高齢者層に対する啓発

- 全国各地の消費者行政機関・消費者団体等が主催する生命保険学習会として、主に60代以上を対象に、生命保険の見直しや保険金の受取りに関する留意点等を扱った、高齢者層向けテーマ「セカンドライフと生命保険」の講座を開催した。(14回開催・受講者数420名)

* 上記記載の「セカンドライフと生命保険」の講座は、(4)社会人向け活動 消費者向けの生命保険学習会の実績回数に含まれる。

(5) 教員向け活動

① 「教員対象セミナー」の開催

- 日本損害保険協会との共催で、全国の中学校・高等学校の家庭科教員及び社会科・公民科教員を対象に、「くらしとリスク管理」をテーマとした教員対象セミナーを開催した。昨年度に引き続き、夏季だけではなく冬季にも開催した。例年どおり、会場参加に加え、リアルタイムのオンラインによる参加も可能とした。(夏季：①7月28日東京：会場参加17名・オンライン参加30名、②7月29日大阪：会場参加16名・オンライン参加13名、③8月18日東京：会場参加16名・オンライン参加13名、冬季：④12月26日東京：会場参加11名・オンライン参加14名、4日間合計130名)
- 明治大学 浅井義裕教授による基調講演、家庭科教員及び公民科教員による生活設計やリスク管理に関する授業実践報告及びグループ形式による意見交換を実施した。

〈基調講演〉

- ・講演タイトル：『中学・高校に必要な保険教育とは？』－いま、中高生に知っておいてほしいこと－
- ・講演者：明治大学 商学部 浅井 義裕 教授

〈授業実践報告〉

- 高等学校授業実践報告
- ・講演タイトル：『家庭科および公民科における授業内容を踏まえた「リスク管理」に関する実践報告』
- ・講演者：東京都立竹早高等学校 家庭科 三野 直子 先生
元東京都立竹早高等学校 公民科 原田 明 先生

② 教員対象勉強会への講師派遣

- 各地の教員が所属する研究会等からの要請に応じて、副教材の活用方法及び社会保険・生命保険に関する内容をテーマとする勉強会に講師を派遣した。（全国で3回開催・受講者数74名。うち2回については、日本損害保険協会と共催で実施。）

③ 学校教育用副教材の提供

- 学校における生活設計・生活保障に関する教育活動の促進のため、学校教育用副教材を希望する学校・教員に無償提供した。

[提供部数]

教材名	提供部数
「生命保険って何だろう？」（中学校用）	48,457部（42,207部）
「君とみらいとライフプラン」2025年度版（高等学校用） ・生徒用ワークブック ・教員用手引き	115,643部（122,380部） 1,744部（1,522部）
「ソナソナ」（高等学校用）	3,591セット（－）
「生活設計とリスク管理」（大学用）	10,344部（11,153部）

（ ）内は2024年度

* 「生命保険って何だろう？」は、中学生作文コンクール生徒用副読本として、「君とみらいとライフプラン」「生活設計とリスク管理」は、生命保険実学講座のテキストとしても利用。上記提供部数は実学講座開催時の利用部数を含む。

* 「ソナソナ」は、共同作成した日本損害保険協会による配布分と合算した実績。うち57セットは、2024年度3月完成時納品分を2024年度中に提供。

2. 消費者団体等との連携・交流活動

（1）消費生活相談員等への情報提供

① 相談員等を対象とした勉強会の実施

1) 相談員勉強会

- 相談業務に役立てていただくことを目的に、消費生活センターの相談員や消費者団体が行う生命保険の勉強会等に、当センター職員を講師として派遣した。（全国で9回開催・受講者数569名）

2) 相談員等の地域別講習会

- 相談員等への定期的な情報提供機会の拡大を目的に、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会とそれぞれ連携し、地域別講習会を開催した。（全国で8回開催・受講者数128名）

3) 暮らしの設計講習会等

- 日本消費者協会とタイアップし、消費生活コンサルタント等を対象に、生命保険に関する情報提供と相談業務に役立つ有益な知識の付与を目的として「暮らしの設計講習会」を1983年度以降毎年開催している。また、「消費生活コンサルタント養成講座」への講師派遣も行っている。タイアップによる講習会等を全国で2回開催し、受講者数58名。

* 消費生活コンサルタントは、日本消費者協会が主催する消費生活コンサルタント養成講座の修了者。

4) 消費者行政等との意見交換会の場を活用した勉強会

- 生命保険協会との共催により全国54地域で実施する消費者行政等との意見交換会の場を活用し、行政担当者や消費生活相談員に対して、「医療保障と介護保障」「市場リスク」を有する生命保険「相談事例から学ぶ生命保険」をテーマに勉強会を開催した。(全国で50回開催・受講者数439名)

<相談員等を対象とした勉強会合計実績>

- 上記①の1)相談員勉強会、2)相談員等の地域別講習会、3)暮らしの設計講習会等、4)消費者行政等との意見交換会の場を活用した勉強会を合わせて69回開催・受講者数1,194名。
- 主催者からの要請に応じて、69回開催した相談員等を対象とした勉強会のうち、オンライン講座は7回、オンデマンド講座は1回であった。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2023年度	70回	108%	792名	86%
2024年度	76回	109%	1,363名	172%
2025年度	69回	91%	1,194名	88%

* 相談員勉強会の開催状況は、後掲資料編45～46ページ参照。

* 2025年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した2回分(9ページ「③生命保険協会地方事務室との連携」に記載)を含む。

② 「生命保険・相談マニュアル」の配布

- 消費者からの相談業務に携わる消費生活相談員に役立てていただくことを目的として、1985年の初版作成から改訂を重ねている。全国の消費生活センターの消費生活相談員等を中心に948部を無償配布した。また、相談員等を対象とした勉強会でも積極的に本マニュアルを使用し、活用促進を図った。

(2) 消費者団体及び各種団体等との交流・連携

① 消費者団体等との交流

- 生命保険協会が主催する、国民生活センター、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会等、消費者団体との意見交換会に出席(14回)し、更なる連携強化を図った。
- 消費者教育支援センターと共同で、第4回「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」を実施した(第1回2012年、第2回2016年、第3回2021年度に実施)。この調査は、全国の高校生の消費生活と生活設計に関する実態を明らかにするとともに、学習指導要領を踏まえた学習指導、教材開発等の一助となることを目的としている。

《調査要領》

- ・調査地域：全国
- ・調査対象：高等学校1年生、2年生
- ・回収サンプル数：74校・3,034名
- ・調査時期：2025年7月1日～2025年9月30日

② 日本消費者教育学会との連携

- 消費者教育の発展を目的に、日本消費者教育学会が推薦する消費者教育に関する優れた研究に対し、副賞として「生命保険文化センター賞」を授与している。
- 2025年度は、10月12日に開催された日本消費者教育学会第45回総会において次の方に上記の副賞を授与した。

○受賞者（1名）

・横山 真智子 氏（三重大学）

③ 生命保険協会地方事務室との連携

- 学校向け活動として実施している副教材の提供及び講師派遣、中学生作文コンクールや教員対象セミナーについて、各地の教育委員会や校長会等へ行う案内活動を、引き続き業務委託した。
- 各地の消費生活センターならびに金融広報委員会、生命保険協会で奨学金を支給している介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校の短期大学・専門学校等への講師派遣案内活動、地方新聞社への小冊子改訂や中学生作文コンクール等の記事掲載案内活動について、引き続き業務委託した。
- 生命保険協会地方事務局長による講師派遣案内活動により、介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校で生命保険実学講座を開催した。（27回・受講者数745名）
* 上記の「介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校」で開催した生命保険実学講座は、4ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動（3）大学向け活動の短大生・専門学校生向け生命保険実学講座の実績回数に含まれる。
- 講師派遣活動において、生命保険協会地方事務局長に講師業務を24回委託した（生命保険実学講座16回、生命保険学習会6回、相談員勉強会2回）。
* 上記の「生命保険実学講座」は、4ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動（3）大学向け活動の短大生・専門学校生向け生命保険実学講座の実績回数に、「生命保険学習会」は、5ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動（4）社会人向け活動の生命保険学習会の実績回数に、「相談員勉強会」は、7ページ記載の2. 消費者団体等との連携・交流活動（1）消費生活相談員等への情報提供 ①相談員等を対象とした勉強会の実績回数に含まれる。

3. 情報提供活動

（1）ホームページ

① ホームページによる情報提供の充実

- 当センターの活動や生命保険・生活設計に関する最新かつ適切な情報を広くタイムリーに提供している。アクセス件数は5,336,410件と、前年度に比べて28.8%減少した。

[アクセス件数]

	アクセス件数※	
		前年度比
2023年度	7,358,064件	109.5%
2024年度	7,491,631件	101.8%
2025年度	5,336,410件	71.2%

※Googleアナリティクス4で計測した数値。

- 「生命保険の契約にあたっての手引」「保険金・給付金の請求から受取りまでの手引」をリニューアルした。
- ホームページコンテンツ「ひと目でわかる生活設計情報」の新規ページを2タイトル作成した。

分野	タイトル
仕事	産業別の賃金は？
家計・資産形成	住む地域などによって家賃はどのくらい違う？

- WEB マガジンとして、生命保険や社会保障制度、生活設計等に関するエッセイを年間12回掲載した。2025年度は大学教授(3回)、消費生活相談員(3回)、税理士(3回)、当センター職員(3回)が執筆した。
- 中学校・高等学校における生活設計や金融等に関する授業実践事例を紹介する「教育の現場から」を年間4回掲載・提供した。

② メールマガジンによる情報提供

- 生命保険や社会保障制度、生活設計等について、タイムリーに適切な情報提供を行うため、メールマガジンを月2～3回程度、年間37回(2024年度38回)発行した。
- 生命保険実学講座や生命保険学習会の受講者、生命保険協会との共催により実施する消費者行政等との意見交換会の参加者等に対して、メールマガジンの案内チラシを配布し、積極的に案内活動を行った。結果、メールマガジン登録者数は、2026年3月末現在で29,383名(2025年3月末比331名減)となった。

③ ホームページのウェブアクセシビリティ改善

- 年齢や障害などの有無、利用環境などにかかわらず、ホームページ利用者が情報及びサービスにアクセスしやすくするため、当センターホームページのウェブアクセシビリティ改善への取組みを2024年度から開始した。
2024年度に行った「診断」の結果を踏まえ、2025年度は「結果検証、改善方針決定」「改善作業」を行った。2025年8月にウェブアクセシビリティ方針をホームページで公開し、2026年2月に検証結果(JIS X 8341-3:2016の適合レベルAA準拠)を公開した。

④ WEB シミュレーションツール「e-ライフプランニング」

- 2015年からホームページで公開してきたWEB シミュレーションツール「e-ライフプランニング」の後継ツールの公開(2026年度予定)に向けた開発準備を行った。

(2) 動画による情報提供

- 冊子やホームページで提供している情報をもとに作成した、当センターYouTube公式チャンネルで公開している各種動画について、講師派遣先や消費生活センター等へ周知を図った。

[累計視聴回数の多い動画]

順位	動画名称	累計視聴回数	動画公開日
1	死亡保険金を受け取った場合の相続税について	64,242回	2023年3月26日
2	生命保険料控除の仕組み～生命保険料を支払った場合の税金の取り扱い～	22,753回	2023年2月14日
3	入院給付金が受け取れない！？～よくある相談事例から～	19,480回	2021年5月11日

*2026年3月31日時点

(3) 各種小冊子による情報提供

- 4冊子を改訂し、医療、年金、税金、生活設計等に関する最新の情報を提供した。

[改訂した小冊子の主な改訂内容]

小冊子名	改訂月	主な改訂内容
医療保障ガイド	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の公的医療保険制度の動きとして、公的医療保険制度の改正内容(P4-5)や、「社会保険」の適用拡大(P7)、2025(令和7)年4月から引上げとなった入院時食事代(P15)などを掲載。 ・事例でみる入院費用(6ケース)を2025(令和7)年4月時点の診療報酬や入院時食事代で計算、最新化(P17-23)。 ・医療費などに備える生命保険の契約例を更新。 ・患者申出療養、自由診療のがん治療、早期の治療や重症化予防を保障する生命保険などの説明を追加(P40-41)。 ・QAに「不妊治療を受けた場合、手術給付金は受け取れますか？」を追加(P50)。 ・新規データ〔生涯医療費、傷病分類別総患者数(P3)、がん5年相対生存率(P35)、高度障害保険金の受取り対象となる「高度障害状態」(P36)]を掲載。
ねんきんガイド	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・2025(令和7)年度の年金額・加算額などを反映。 ・育児期間の国民年金保険料の免除(P12)、高年齢雇用継続給付の給付率の引下げ(P27)、iDeCoの拠出限度額の引上げや退職所得控除額の調整期間の延長(P36)、子育て世帯の生命保険料控除の拡充(P54)、公的年金にかかる所得税(P59・Q8)について、制度改正を反映。 ・次期年金制度改正にむけて検討が進められている内容〔社会保険の適用拡大(P9)、配偶者や子どもへの加算の見直し(P18)、在職老齢年金の支給停止調整額の引上げ(P21)、離婚時の年金分割の請求期限延長(P28)、遺族年金の見直し(P30)、遺族年金・障害年金の保険料納付要件の特例の延長(P31・34)、iDeCoの加入年齢や拠出限度額の引上げ(P36)、厚生年金保険の標準報酬月額の上限の段階的な引上げ(P13・62)など〕を補足説明。 ・個人年金保険の契約例を更新(P44-45)。 ・掲載データの最新化。
知っておきたい生命保険と税金の知識	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・特集「2025(令和7)年度税制改正で、所得税はどう変わる？」を掲載(P8-9)。 ・事例計算などに、2025(令和7)年度税制改正を反映。 ・「養子がいる場合の法定相続人数」(P21)、「生命保険と住民税」(P55・Q27)の説明を充実。 ・事例や帳票見本を更新し、掲載データを最新化。
ライフプラン情報ブック	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・特集「住宅の価格と住宅ローン」を新規掲載(P10-11)。 ・地域別最低賃金(P13)、育児のための各制度の有無及び最長利用可能期間別でみた事業所の割合(P26)、自己啓発やボランティア活動をしている人の割合

		<p>(P56)などを新規掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用保険制度の概要(P15)、出産・育児関係の給付(P25)、大学などの教育費をサポートする制度(P30-31)、公的年金制度の概要(P35・43・46)、公的介護保険制度の概要(P51)などの情報を最新化。 ・「2025(令和7)年度 生活保障に関する調査」の最新データを反映し、その他の掲載データも最新化。
--	--	--

[小冊子の提供部数]

(単位:部)

小冊子名	提供部数 (紙+電子書籍)	提供部数 (紙)	うち有償分	電子 書籍
2023年度(4冊子改訂)	99,024	97,860	83,103	1,164
2024年度(4冊子改訂)	100,578	99,559	81,911	1,019
2025年度(4冊子改訂)	99,514	98,891	81,197	623
ねんきんガイド	25,816	25,729	22,127	87
知っておきたい生命保険と税金の知識	22,059	21,914	18,316	145
医療保障ガイド	12,626	12,524	8,927	102
ほけんのキホン	9,912	9,866	6,790	46
介護保障ガイド	7,064	6,983	6,896	81
ライフプラン情報ブック	15,516	15,416	11,820	100
定年G o !	4,436	4,413	4,343	23
遺族保障ガイド	2,085	2,046	1,978	39

(4) 相談対応活動

- 相談対応は、消費者からの生命保険に関する相談に対し、公正・中立な立場から情報提供と助言を行うことを目的としている。また、相談内容の集計・分析により消費者相談の傾向を把握し、当センターの情報提供活動に活用するとともに、一般に公表している。相談内容を集計、分析した結果は「生命保険相談レポート」として上期版と年度版の2回発行している。
- 2025年度の相談受付件数は657件で、2024年度(757件)に比べて100件減少した。

[相談受付件数の推移]

	年間累計	前年度比
2023年度	756件	93%
2024年度	757件	100%
2025年度	657件	87%
うち来所	16件	160%

- 当センターでは相談内容を「一般相談」と「生命保険会社の経営に関する相談」に区分している。2025年度の「一般相談」は651件で、2024年度(750件)に比べて99件減少した。「生命保険会社の経営に関する相談」は6件で、2024年度(7件)に比べて1件減少した。
- 「一般相談」の内訳をみると、「生命保険の仕組み・税金・保全に関する相談」の占率が51.8%と最も多く、次いで「生命保険の加入検討の相談」(11.5%)、「既契約の診断・内容確認に関する相談」(8.3%)の順となった(「その他」14.7%を除く上位3項目)。

[一般相談内容の内訳（件数、占率）]

年度	内 訳							合 計
	1. 税金・保険の仕組みに関する相談	2. 生命保険の加入検討の相談	3. 既契約の診断・内容確認に関する相談	4. 契約条件に関する相談	5. 既契約の見直しに関する相談	6. 社会保障制度に関する相談	7. その他	
2023年度	395件 52.8%	67件 9.0%	66件 8.8%	45件 6.0%	24件 3.2%	23件 3.1%	128件 17.1%	748件 100%
2024年度	441件 58.8%	66件 8.8%	53件 7.1%	46件 6.1%	19件 2.5%	21件 2.8%	104件 13.9%	750件 100%
2025年度	337件 51.8%	75件 11.5%	54件 8.3%	42件 6.5%	29件 4.5%	18件 2.8%	96件 14.7%	651件 100%

* 相談内容別件数（一般相談）は、後掲資料編 47 ページ参照。

（5）広報活動

① プレスリリースの実施

- 当センターの活動がマスコミに取り上げられることにより、当センターの活動を知っていただき、消費者の生命保険への関心の向上につながることを目的としている。小冊子改訂、中学生作文コンクール及び調査等に関する計 8 回のプレスリリースの発行を通じて、情報提供を行った。

[プレスリリース発行回数・内訳（全国紙・地方紙）]

年度	内 訳			合計
	小冊子改訂	中学生作文コンクール	その他	
2023年度	3回	2回	1回	6回
2024年度	4回	2回	2回	8回
2025年度	4回	2回	2回	8回

* プレスリリースは、小冊子改訂、中学生作文コンクール関連（募集・入賞者決定）及び調査等の回数。

② プレスリリースによる全国紙・地方紙への記事掲載について

- 記事掲載数は延べ 158 件（2024 年度計 8 回延べ 182 件）となった。

[プレスリリース記事掲載状況（全国紙・地方紙）]

（単位：件）

年度	紙種	内 訳			合計
		小冊子改訂	中学生作文コンクール	その他	
2023年度	全国紙	3	0	1	4
	地方紙	38	103	6	147
	合 計	41	103	7	151
2024年度	全国紙	5	0	2	7
	地方紙	54	106	15	175
	合 計	59	106	17	182
2025年度	全国紙	5	0	3	8
	地方紙	47	86	17	150
	合 計	52	86	20	158

③ 上記②以外の記事掲載等について

- 記事掲載数は、延べ 153 件（うち新聞 74 件、業界紙 47 件、雑誌 32 件）となった。掲載内容の内訳は、「調査」が 118 件、「その他」が 35 件だった。
- 2025 年度のテレビ放映は次のとおり。
 - ・ 6/13 毎日放送（生活保障に関する調査）
 - ・ 10/22 フジテレビ（センターHP 掲載の介護に関するデータ）
 - ・ 12/1 TBS（生活保障に関する調査）

④ その他マスコミからの取材対応

- 当センターの活動内容の周知や消費者への情報提供を目的に、新聞・テレビ等の取材に対応している。
- 新聞・テレビ等からの取材対応は 25 回（2024 年度 31 回）。

[取材内容・件数]

取 材 内 容	新聞	テレビ	その他	計
小冊子改訂	7 件	0 件	0 件	7 件
中学生作文コンクール	3 件	0 件	0 件	3 件
全国実態調査等のデータの活用	3 件	3 件	0 件	6 件
その他	8 件	0 件	1 件	9 件
計	21 件	3 件	1 件	25 件

* 取材内容は、後掲資料編 48 ページ参照。

⑤ X（旧 Twitter）による情報発信

- 各種小冊子や中学生作文コンクールに関する情報など、プレスリリースに関する内容を中心に X（旧 Twitter）への投稿を 17 回実施した。

（6）「各社個人保険商品一覧」の作成 【共益事業】

- 「各社個人保険商品一覧」は、相談受付時の参考資料として活用することを目的に、各社の個人保険商品の主契約（保険種類別）、特約（各社別）の特徴や仕組み等をまとめ、毎年作成している。
- 毎年 4 月時点で生命保険会社が販売している個人向け商品を収録し（2025 年度は生保 41 社の商品を掲載）、2025 年 8 月下旬に生命保険協会、生命保険協会地方事務室へ、9 月上旬に生命保険会社等へ無償提供した。生命保険会社各社からの申込みに対して、2025 年度は有償で 364 部を提供した。

Ⅱ 学術振興事業

〔公益目的事業2、一部共益事業〕

(座長・指導者等の所属は 2025 年度のもの)

1. 保険研究の活性化に向けた取組み

(1) 研究会の運営

① 保険事例研究会<東京、大阪>

- 学者、弁護士、業界専門家をメンバーとして、生命保険を中心とした保険全般に関する最新の判例研究を行った。

[研究会メンバー構成]

	座長	学 者	弁 護 士	業 界 専 門 家	合 計
東京	潘 阿憲 教授 (法政大学)	41 名	28 名	54 名	123 名
大阪	竹瀨 修 特任教授 (立命館大学)	29 名	41 名	6 名	76 名

* 研究会の登録メンバー数は、2026 年 3 月末時点の登録数。以下同じ。

* 東京、大阪ともに、医学的アドバイザー1 名が参加 (業界専門家に含める)。

* 他に傍聴希望者 (東京 36 名、大阪 89 名) が参加。

- 東京及び大阪で各々年間 9 回開催した。
- 研究成果は研究会開催の都度、「保険事例研究会レポート」にとりまとめ、関係各方面に配布した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 49 ページ参照。

② 生保・金融法制研究会<大阪>

- 関西の保険法関係の学者と業界専門家をメンバーとして、生命保険・金融に関する法制全般に関する研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座長	学 者	業 界 専 門 家	合 計
洲崎 博史 教授 (同志社大学)	11 名	19 名	30 名

- 研究会は 5 回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 50 ページ参照。

③ 生命保険会計研究会 〔共益事業〕

- 会計研究者、アナリスト等の有識者と業界専門家をメンバーとして、国際会計基準審議会 (IASB) における審議等を踏まえつつ、生命保険会計や会計全般に関する研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座長	学 者	有 識 者	業 界 専 門 家	合 計
弥永 真生 専任教授 (明治大学)	9 名	3 名	8 名	20 名

- 研究会は 5 回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 50 ページ参照。

④ 生保関係法制研究会<東京>

- 関東を中心とした保険法関係の学者と業界専門家をメンバーとして、生命保険を中心とした金融関連法に関する研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座長	学 者	業 界 専 門 家	合 計
野村 修也 教授 (中央大学)	18 名	10 名	28 名

- 研究会は6回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 50 ページ参照。

⑤ 生命保険基本判例研究会 [共益事業]

- 保険法学者、弁護士を指導者とし、生保各社の支払査定部門・契約審査部門・法務部門・商品開発部門等を担う中堅職員をメンバーとして、基本的な保険判例の理解力と生命保険約款解釈の基礎的能力の向上を図り、次代を担う中堅職員の育成を目指して基本的な判例の研究を行った。
- 運営にあたっては、質問担当会社を設定するなどの工夫を行い、討議の活性化に注力している。

[研究会メンバー構成]

指 導 者	学 者	弁 護 士	業 界 担 当 者	合 計
潘 阿憲 教授 (法政大学)	3 名	1 名	49 名	53 名
山下 典孝 教授 (青山学院大学)				
遠山 聡 教授 (専修大学)				
天野 康弘 弁護士 (柏木・天野法律事務所)				

- 研究会は8回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 51 ページ参照。

⑥ 生活保障におけるプロテクションギャップと生命保険事業に関する研究会

[共益事業]

- 消費者の生活保障における「プロテクションギャップの最小化」に向けて、生命保険業界がコミットする社会的な望ましさに向けた分析と提案を行い、今後の日本社会における新たな価値を提示することを目的として研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座 長	学 者	業 界 専 門 家	合 計
田中 隆 教授 (兵庫県立大学)	7 名	8 名	15 名

- 研究会設置期間：2025年4月～2027年3月
- 研究会は6回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 51 ページ参照。

(2) 研究者への支援

① 研究助成

- 生命保険及びこれに関連する分野の研究支援を目的として、若手研究者及び一般研究者(教授等)を対象に募集を行い、学術振興委員会で審議のうえ、若手研究者8件、一般研究者5件の計13件(うち共同研究2件)に対して助成金を支給した。
* 研究助成者・研究テーマの一覧は、後掲資料編 52～53 ページ参照。
- 2023年度研究助成者の成果論文について学術振興委員会で審議のうえ、優秀論文賞1編、研究奨励賞1編を選定した。また、以下のとおり、受賞者による研究報告会を実施するとともに、表彰式を開催し、顕彰した。
 - ・開 催 日 2025年9月26日
 - ・参加者数 47名(うち学者22名、業界25名)
 - ・会 場 大手町サンケイプラザ
 - * 受賞者・受賞論文は、後掲資料編 53 ページ参照。

② 大学ゼミナール活動への支援

- 東京学生保険ゼミナールに対し、活動経費の支援を行った。
* 参加校：慶應義塾大学、専修大学、東洋大学、日本大学、明治大学、早稲田大学（50音順掲載）
- 全国学生保険学ゼミナール [Risk and Insurance Seminar ; RIS] に対し、活動経費の支援を行った。
* 参加校：関西大学、九州産業大学、京都産業大学、慶應義塾大学、上智大学、西南学院大学、専修大学、拓殖大学、中央大学、東京経済大学、同志社女子大学、東洋大学、長崎県立大学、日本大学、福岡大学、明治大学、早稲田大学（50音順掲載）
- 独自に報告会を開催した大学ゼミナール(1ゼミ)に対し、活動経費の支援を行った。

③ 若手研究者の発掘・育成（支援）

- 研究助成への応募案内や実学講座の紹介、保険学セミナーへの参加案内を行い、若手研究者との関係構築・強化への取組みを行った。
- 大学研究者に若手の保険（周辺分野）研究者の裾野を広げるための方策についてヒアリングを実施し、研究助成の SNS を通じた募集等、実行可能な方策を実施した。

(3) 学術振興委員会

- 2025年6月に、2025年度研究助成者の審議及び2023年度研究助成者の成果論文に対する評価を行った。
- 2025年11月に、次年度研究助成の募集要項に関する検討を行った。

2. 学術交流の促進に向けた取組み

(1) 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会〈東京、大阪〉

- 大学研究者及び業界関係者をメンバーとして、保険学セミナー及び保険学セミナー懇談会を東京及び大阪で各々年間6回開催した。
- 保険学セミナーは大学研究者の研究発表・討議の場、保険学セミナー懇談会は大学研究者に対する業界情報の提供の場として運営した。
- 運営にあたっては、討議の活性化、魅力度の向上を図るべく、事前質問制度の活用や中堅教授による報告回数を増やすなど、運営面について幅広く検討・工夫を行った。
- 若手研究者の育成（支援）の一環として、研究助成者に報告の機会を提供した。

[セミナー会員構成]

	幹 事	学 者	業界関係者	合 計
東京	得津 晶 教授（一橋大学） 柳瀬 典由 教授（慶應義塾大学）	148名	74名	222名
大阪	原 弘明 教授（関西大学） 石田 成則 教授（東京経済大学） 安井 敏晃 教授（香川大学）	90名	24名	114名

* 石田氏は2025年7月まで、安井氏は2025年9月から幹事を担当。

* セミナー会員数は2026年3月末時点の会員数。

* 保険学セミナー・同懇談会の開催状況は、後掲資料編54～55ページ参照。

(2) 講演会

① 公開講演会〔共益事業〕

- 一般消費者及び生命保険業界関係者を対象に、生命保険及び関連分野に関する動向などの情報提供を目的に、また、2025年度は当センター設立50周年記念事業の一環として、以下のとおり公開講演会を開催した。

- ・開催日 2026年1月26日

【第一部】

- ・テーマ 小・中・高校における金融経済教育
- ・講師 大藪千穂氏（岐阜大学副学長・教育学部教授）

【第二部】

- ・テーマ 高齢時代の金融・保険リテラシー
- ・講師 家森信善氏（神戸大学 経済経営研究所教授）

- ・参加者数 357名（うち一般申込136名、生命保険業界申込91名、センター招待者等130名）

- ＊ 対面参加107名、オンライン参加250名

- ・開催方法 対面とオンライン（Zoom ウェビナー）の併用開催

② 海外の有識者による講演会等

- 2025年度は開催なし。

3. 情報提供活動

(1) 生命保険論集

- 保険学の発展に資することを目的に、生命保険を中心とした保険全般に関する研究論文集を発行している。2025年度は、通常号として6月、9月、12月、3月の年4回発行したほか、2024年度まで実施していた「家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会」の研究報告書を9月号の別冊として、また、当センター設立50周年を記念した特別号を12月、3月に発行した。
- 学者、業界関係者、関係諸機関を対象に385部を毎号無償で配布したほか、有料の購読会員を募集した結果、421名の申込みがあった。
- 当センター主催の研究会等での報告から7編を「生命保険論集」に掲載した。
＊ 掲載状況は、後掲資料編56～58ページ参照。
- 6月号において、2025年2月に開催した公開講演会の講演録1編を掲載した。
- 2025年10月、当センターホームページの「学術出版物検索・閲覧」に、2024年度発行分を追加掲載し閲覧できるようにした（毎年10月、前年度発行分を追加掲載）。
- 2024年度発行分をJ-Stageへ掲載した。

(2) 生命保険判例集

- 生命保険判例の提供を通じ、保険法の研究、保険会社の実務やコンプライアンス推進に資することを目的に、2021年の判例37件を収録した「生命保険判例集第29巻」を、2026年3月にCD-ROMで発行した。
- 「生命保険判例集第30巻」以降の発行準備作業を進めた（第30巻は2022年の判例を収録、2026年度中に発行予定）。

(3) 保険事例研究会レポート

- 学界、法曹界、生命保険業界等で実務・理論両面に資することを目的とした保険事例研究会（15 ページ）の成果をレポート形式にまとめ、保険事例研究会実施後発行した（年9回）。
- 保険事例研究会参加の学者、弁護士、生命保険会社各社、及び最高裁判所等の関係諸機関を対象に 319 部を毎号無償で配布したほか、有料の購読会員を募集した結果、429 名の申込みがあった。
- 2025 年 10 月、当センターホームページの「学術出版物検索・閲覧」に、2024 年度発行分を追加掲載し閲覧できるようにした（毎年 10 月、前年度発行分を追加掲載）。

(4) WEB 版「生命保険用語英和・和英辞典」のメンテナンス

- WEB 版「生命保険用語英和・和英辞典」では、新規語・修正語について随時内容を検討し、3 項目を掲載（修正・追加含む）した。

4. 関連諸学会との連携

生命保険経営学会との連携

- 生命保険業界関係者を中心とする生命保険経営学会との連携を通じ、生命保険経営の理論・研究への支援を行った。

1. 調査活動

(1) 「生活保障に関する調査」(第17回)の実施

- 社会環境の変化に伴う生活保障意識や保障準備の実態を時系列に把握することを目的に、1987年から3年毎に実施している。
- 2025年4～6月に調査を実施し、10月に速報版をWeb版としてホームページに掲載した。また、記者向けのプレス発表会もあわせて行った。
- 2026年1月に報告書をWeb版としてホームページに掲載し、主要な属性別の集計表もあわせてホームページに掲載した。

[2025年度調査の調査設計]

(1) 調査地域	全国(400地点)
(2) 調査対象	18～79歳の男女個人
(3) 回収数	4,837
(4) 抽出方法	層化二段無作為抽出法
(5) 調査方法	面接調査(一部留置)
(6) 調査時期	2025年4月5日～6月11日

[主な調査内容]

1. 生活設計と生活保障意識

生活設計の有無、将来考えられる経済的リスク、生活保障リスクの直接的・間接的な経験の有無、現在と将来の健康状態・運動習慣・食習慣

2. 医療保障

公的医療保険に対する意識、医療保障としての生命保険、医療保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向、過去5年間の入院経験

3. 老後保障

公的年金に対する意識、老後保障としての生命保険、老後保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向、老後生活に対する意識

4. 死亡保障

公的死亡保障に対する意識、死亡保障としての生命保険、死亡保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向

5. 介護保障

公的介護保険に対する意識、介護保障としての生命保険、介護保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向、自分の介護に対する意識

6. その他

直近加入契約の状況、今後の加入意向、生命保険の加入状況、金融・保険に関する知識量

[主な調査結果]

1. 生活設計と生活保障意識

- ・自分自身や家族の将来のために、生活設計を立てている人は約4割
- ・想定される将来のライフイベントは「老後生活の充実」が最も高い
- ・生活保障に対する不安の割合は医療保障、介護保障、老後保障で高い
- ・自助努力による経済的準備は、「準備している」が老後保障で約7割、介護保障で6割弱と前回と比べ増加

- ・生活保障準備は老後保障と介護保障で「充足感なし」が6割超、医療保障と死亡保障は前回から増加

2. 医療保障

- ・疾病入院給付金の支払われる生命保険の加入率は65.6%
- ・疾病入院給付金額の必要額10,100円（日額）、24.0万円（一時金）に対し、疾病入院給付金加入金額は8,500円（日額）、19.4万円（一時金）

3. 老後保障

- ・夫婦2人の老後の最低日常生活費は平均で月額23.9万円、ゆとりある老後生活費は平均で月額39.1万円といずれも前回から増加
- ・老後の生活資金をまかなう手段として「預貯金」が71.4%
- ・老後資金の使用開始年齢の平均は67.2歳

4. 死亡保障

- ・死亡保険金の必要額は1,569万円、加入金額は887万円
- ・自助努力による準備手段は「生命保険」が最も高く60.2%

5. 介護保障

- ・民間の介護保険・介護特約の加入率は10.4%
- ・自分が介護してもらいたい場所は「公的な介護老人福祉施設など」が35.2%

6. 生命保険の加入状況

- ・加入している生命保険の保険料払込方法は、「月・半年・年ごとに支払っている」が約9割
- ・年間払込保険料の平均は17.1万円、一時払保険料の平均は442.5万円
- ・民保の外貨建て保険の加入率は1.9%

7. 直近加入契約の状況と今後の加入意向

- ・加入方法（対面・非対面）に対する意向は、「自宅や職場、窓口で営業担当者に直接会って加入したい」が最も高く60.6%
- ・最も加入意向のあるチャンネルは「営業職員」が35.6%

(2) 「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」(第3回)の企画・検討

- 多様化する長寿社会に対する高年齢層の生活実態や意識等を把握することを目的に、2020年から実施している。
- 2025年度は、2026年4～5月の本調査の実施に向け、調査内容の検討及び調査質問票の策定を行った。2026年度調査の調査設計及び調査内容は以下のとおりである。

[調査設計]

- | | |
|-----------|------------|
| (1) 調査地域 | 全国（200地点） |
| (2) 調査対象 | 60歳以上の男女個人 |
| (3) 回収目標数 | 2,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 留置調査 |
| (6) 調査時期 | 2026年4月～5月 |

[主な調査内容]

- | | |
|------------------|--|
| 1. 日常生活、自身の行動・性格 | 健康状態、健診の受診頻度、食生活、歩行量、社会貢献活動の実施状況・実施意向、地域・イベントへの参加状況、自身の行動・性格 |
| 2. 金融・保険に関する知識 | 金融に関する知識、保険に関する知識 |

3. 生活保障

老後資金への経済的不安感、老後資金の経済的準備状況、病気・ケガに対する経済的不安感、医療に関する経済的準備状況、自分が要介護状態になることへの経済的不安感、自分の介護に関する経済的準備状況、介護経験、介護サービスの利用状況、万一死亡した際の経済的不安感、自身が万一死亡した際の経済的準備状況

4. 財産管理

財産管理に対する不安感、財産の管理者、財産目録作成の有無、判断能力が不十分なときの準備実態、判断能力が不十分なときの相談相手

5. その他

終活準備の状況、今後の終活準備意向、生命保険会社や金融機関から受けているサービス・受けたサービス、デジタル機器の利用状況・利用場面、利用への自信、何歳まで生きたいか、人生全般に関する後悔、幸福度

(3) 個票データの学術的活用の促進

- 保険及びその周辺分野の研究インフラとして活用することを目的に、当センターホームページ上にデータ利用申請に関する情報を掲載した。
- また、研究・教育目的による二次的活用のために東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターに当センターが実施した過去の調査データを寄託しており、当センターへの利用申請分とあわせて 2025 年度は 57 件の申請があった。
- あわせて、研究の質の向上及び当該分野における研究の裾野の拡充に寄与することを目的に、学部生や修士課程の大学院生を対象に個票データを用いた懸賞論文の募集を行い、学術振興委員による審査を経て、優秀論文 1 件を決定した（表彰式は 2026 年度に開催予定）。
* 優秀論文受賞者・受賞論文は、後掲資料編 59 ページ参照。

2. 研究機能の強化

研究活動

- 当センター内の研究体制の基礎固めに注力し、2025 年 4 月開催の保険学セミナー懇談会（東京、大阪）において、「生命保険に関する全国実態調査」の調査結果について概要報告を行った。

IV その他

〔共益事業〕

生命保険文化センター設立 50 周年記念事業

2026 年 1 月 5 日の当センター設立 50 周年を記念し、以下の事業を行った。

- 「生命保険論集」の別冊として、設立 50 周年記念特別号を 2025 年 12 月 20 日及び 2026 年 3 月 20 日に発行した（18 ページ）。
- 当センターの設立 40 年目に当たる 2015 年度から設立 50 年目の 2025 年度までの活動概要を中心にまとめた「この 10 年のあゆみ～活動小史～」を 2026 年 2 月 27 日に発行し、当センター諸会議委員のほか学識者、業界関係者等に配布した。
- 2026 年 1 月 26 日に大藪 千穂 氏（岐阜大学副学長・教育学部教授）及び家森 信善 氏（神戸大学経済経営研究所教授）による公開講演会を実施した（18 ページ）。また、同日、業界・研究者の交流の場としてレセプションを開催した。
- 50 周年記念ロゴを作成し、当センターホームページや各種発行物等に掲載した。

V 諸会議開催状況

1. 評議員会

(1) 2025年6月30日開催 定時評議員会

【決議事項】

2024年度第14期決算報告書
評議員選任
理事及び監事選任
代表理事選定
退任常勤役員に対する退任慰労金贈呈
について、原案どおり承認された。

【報告事項】

2024年度第14期事業報告書
事務局長の辞任及び後任者の選任

【2025年度定時評議員会の議事録署名人選出】

(2) 2026年3月30日（決議の省略）

議案 理事補欠選任

評議員会の目的である議案について、2026年3月30日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たため、当該議案を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

2. 理事会

(1) 2025年6月6日開催 第1回通常理事会

【決議事項】

第1号議案 2024年度第14期事業報告書
第2号議案 2024年度第14期決算報告書
第3号議案 内閣府への事業報告等に係る提出書類
第4号議案 2025年度定時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項
第5号議案 事務局長の辞任及び後任者の選任
について、いずれも原案どおり議決された。

【報告事項】

代表理事の職務執行状況報告

(2) 2026年2月12日開催 第2回通常理事会

【決議事項】

第1号議案 第16期[2026年度]事業計画書
第2号議案 第16期[2026年度]予算
について、いずれも原案どおり議決された。

【報告事項】

2025年度上期監査結果報告
代表理事の職務執行状況報告

(3) 2026年3月17日（決議の省略）

議案 評議員会（決議の省略）の開催について

理事会の目的である議案について、2026年3月17日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、また監事の全員から書面により異議がない旨の意思表示を得たため、当該議案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

VI 運営体制の充実を図るための取組み

(1) ガバナンス体制

- 当センターでは、保険法・保険学等の学識者や生命保険会社の実務家等を外部理事・監事に選任しており、それぞれの専門性や知見を活かし、理事は当センターの業務執行の決定に参画し、監事は理事会や監査への出席等を通じて理事の職務を監査している。

(2) コンプライアンス・規程改定等

- 情報の取扱いやハラスメント防止等をテーマにコンプライアンス研修を四半期に一度実施し、研修の受講状況等についてコンプライアンス委員会で確認した。
- 職員の月例給与のベースアップに伴い給与規程及び年俸制規程を一部改定した。
- 2024 年改正育児・介護休業法の施行に伴い、育児・介護休業等に関する規程を一部改定した。
- 研究助成（16 ページ）による研究期間について、2026 年度から助成者の決定時期に合わせて 7 月 1 日から翌 6 月 30 日までに変更することに伴い、「研究助成制度の運営に関する規程」及び「研究助成論文の表彰に関する規程」を改定した。
- 新公益法人会計基準への移行に向けて（2028 年 3 月 31 日まで経過措置期間）、行政庁等から必要な情報収集を行った。

(3) 人材育成

- 職員の視野拡大を目的に、外部講師を招いた集合研修を 2025 年度は 3 回実施した。
第 1 回（4 月 17 日実施） テーマ：仕事と介護の両立研修
第 2 回（7 月 17 日実施） テーマ：生成 AI の利活用及び注意点
第 3 回（10 月 17 日実施） テーマ：チーム力が向上するファシリテーション研修
- 職員の自己啓発の取組みを支援するために、2024 年 8 月から e ラーニングをトライアル導入していたが、2025 年 4 月から本格導入した。

(4) 業務効率化

- 在宅勤務、オンライン会議、出張等に幅広く対応するため、経年が進んだ業務用ノートパソコンを新機種に代替するなど当センターの IT 環境の改善を行った。
- 職員の円滑な情報機器の使用に資するよう、システム関係の注意事項を定期的に周知するとともに、注意事項やよくある質問を取りまとめた資料を適宜更新、配付した。

□ □ □ □ □ □ 資 料 編 □ □ □ □ □ □

1. 第63回中学生作文コンクール都道府県別応募状況・入賞者数一覧

都道府県	応募状況		
	応募校数	応募数	
		学校応募	個人応募
北海道	27	420	2
青森県	23	377	1
岩手県	4	9	
宮城県	11	78	2
秋田県	5	25	3
山形県	5	126	
福島県	26	700	1
茨城県	13	470	
栃木県	8	341	1
群馬県	15	410	1
埼玉県	41	1,288	2
千葉県	38	1,480	4
東京都	46	2,358	14
神奈川県	23	497	2
新潟県	4	11	1
富山県	21	465	
石川県	3	8	3
福井県	6	108	
山梨県	2	42	
長野県	17	273	1
岐阜県	8	396	
静岡県	28	912	1
愛知県	20	1,175	2
三重県	6	50	
滋賀県	26	1,340	
京都府	15	417	
大阪府	24	3,425	
兵庫県	23	890	1
奈良県	6	98	
和歌山県	12	300	1
鳥取県	12	463	
島根県	3	127	1
岡山県	15	268	
広島県	25	916	1
山口県	18	505	1
徳島県	14	711	
香川県	5	38	
愛媛県	14	282	1
高知県	9	141	
福岡県	25	1,215	
佐賀県	12	621	
長崎県	6	361	1
熊本県	24	1,267	1
大分県	6	107	1
宮崎県	8	320	
鹿児島県	20	284	
沖縄県	11	821	
合計	733	26,986	

入賞者数									
文部科学大臣賞	全日本中学校長会賞	生命保険文化センター賞	優秀賞	都道府県別生命保険文化センター賞				入賞者数合計	
				1等	2等	3等	佳作		
1			1	1	3	3	9	18	
				1	1	5	10	17	
							1	1	
							2	2	
				1	1		2	4	
				1			3	4	
			1	1	9	4	13	28	
				1	2	2	15	20	
				1	2		8	11	
				1	1	1	12	15	
				1	10	4	30	45	
				1	9	9	28	47	
				1	18	12	68	99	
				1	4	2	18	25	
							1	1	
				1	2		14	17	
				1		1		2	
				1		1	2	4	
					2			2	
				1			8	9	
				1	2	2	6	11	
				1	5	4	32	42	
				1	6	7	20	34	
					1	1		2	
			1	1	2	1	39	44	
				1		4	6	11	
			1	1	11	20	87	120	
	1		1	1	4	1	25	33	
					1		3	4	
				1	2		9	12	
				1	1	1	16	19	
				1		1	3	5	
				1	2	1	9	13	
				1	2	8	25	36	
				1	3	2	12	18	
				1	10	5	19	35	
							2	2	
				1	1	2	6	10	
				1		1	3	5	
		1	1	1	13	6	34	55	
				1	1	3	12	17	
				1		3	5	9	
				1	5	2	41	49	
				1			2	3	
				1		3	10	14	
				1	3	2	10	16	
				1	5	4	17	27	
1	1	1	5	40	144	128	697	1,017	

2. 生命保険実学講座開催状況一覧

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
1	4月15日	兵庫県	兵庫県立大学	生活設計とリスク管理	162
2	4月15日	群馬県	群馬大学	生活設計とリスク管理	101
3	4月17日	京都府	京都産業大学	生命保険の基礎知識	20
4	4月18日	沖縄県	琉球大学	生活設計とリスク管理	140
5	4月19日	宮城県	宮城県登米総合産業高等学校	成年になるということ	106
6	4月21日	新潟県	新潟大学	生活設計とリスク管理	84
7	4月21日	岡山県	岡山大学	生活設計とリスク管理	70
8	4月22日	高知県	高知大学	生活設計とリスク管理	55
9	4月22日	栃木県	宇都宮大学	生活設計とリスク管理	120
10	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	ソナソナ	35
11	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	成年になるということ	35
12	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	ソナソナ	33
13	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	成年になるということ	33
14	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	ソナソナ	34
15	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	成年になるということ	34
16	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	ソナソナ	34
17	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	成年になるということ	34
18	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	ソナソナ	27
19	4月23日	東京都	東京都立町田工科高等学校	成年になるということ	27
20	4月25日	東京都	愛国学園短期大学	君とみらいとライフプラン	29
21	4月28日	三重県	英心高等学校	自助・共助・公助について考えよう	39
22	4月30日	岡山県	岡山商科大学	リスクに備える	79
23	5月1日	愛知県	愛知県立安城高等学校	成年になるということ	64
24	5月7日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	39
25	5月7日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
26	5月7日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	40
27	5月7日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
28	5月7日	東京都	東京都立浅草高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	20
29	5月7日	東京都	東京都立浅草高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	58
30	5月7日	東京都	東京都立浅草高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	57
31	5月7日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	34
32	5月7日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
33	5月7日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	34
34	5月7日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
35	5月8日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	35
36	5月8日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
37	5月8日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	33
38	5月8日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
39	5月9日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	36
40	5月9日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
41	5月9日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	39
42	5月9日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
43	5月9日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	33
44	5月9日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
45	5月9日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	33
46	5月9日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
47	5月10日	愛知県	名古屋葵大学中学校	君とみらいとライフプラン	85
48	5月10日	愛知県	名古屋葵大学中学校	生活設計とリスクへの備え	85
49	5月12日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	37
50	5月12日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
51	5月12日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	31
52	5月12日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
53	5月12日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	34
54	5月12日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
55	5月13日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	40
56	5月13日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	40

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
57	5月13日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	ソナソナ	40
58	5月13日	大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
59	5月13日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	32
60	5月13日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
61	5月13日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	33
62	5月13日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
63	5月13日	大阪府	追手門学院大学	生活設計とリスク管理	63
64	5月14日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	319
65	5月15日	千葉県	千葉県立佐倉南高等学校	成年になるということ	16
66	5月15日	福岡県	近畿大学	生命保険の基礎知識	16
67	5月16日	新潟県	松陰高等学校	ほけんのキホン for Beginners	18
68	5月16日	新潟県	松陰高等学校	成年になるということ	18
69	5月20日	埼玉県	埼玉大学	リスクに備える	95
70	5月24日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	33
71	5月24日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
72	5月26日	三重県	英心高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
73	5月28日	茨城県	茨城県立鹿島高等学校附属中学校	成年になるということ	36
74	5月30日	東京都	帝京大学	生活設計とリスク管理	44
75	6月2日	愛知県	愛知教育大学	生活設計とリスク管理	595
76	6月3日	東京都	専修大学	生活設計とリスク管理	62
77	6月3日	青森県	八戸学院大学	生活設計とリスク管理	43
78	6月3日	山口県	下関市立大学	生命保険と税金の知識	134
79	6月3日	東京都	成城大学	生命保険の基礎知識	94
80	6月3日	千葉県	淑徳大学	生命保険の基礎知識	55
81	6月4日	福井県	仁愛女子短期大学	君とみらいとライフプラン	36
82	6月4日	福井県	仁愛女子短期大学	君とみらいとライフプラン	30
83	6月10日	東京都	東京都立立川高等学校	成年になるということ	30
84	6月11日	茨城県	茨城県立鹿島灘高等学校	成年になるということ	7
85	6月11日	茨城県	茨城県立鹿島灘高等学校	成年になるということ	26
86	6月11日	大分県	大分大学	生命保険と税金の知識	44
87	6月13日	東京都	東京都立第三商業高等学校	成年になるということ	7
88	6月13日	石川県	金沢星稜大学	生活設計とリスク管理	192
89	6月16日	熊本県	熊本大学	生活設計とリスク管理	5
90	6月16日	神奈川県	鎌倉女子大学	生活設計とリスク管理	11
91	6月16日	神奈川県	鎌倉女子大学	生命保険の基礎知識	25
92	6月17日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	23
93	6月17日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
94	6月17日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	107
95	6月17日	東京都	明治大学	公的年金と個人年金	40
96	6月18日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	22
97	6月18日	東京都	明治大学	リスクに備える	253
98	6月18日	北海道	小樽市立潮見台中学校	成年になるということ	117
99	6月18日	北海道	小樽市立潮見台中学校	リスクに備える	117
100	6月19日	東京都	日本大学	生活設計とリスク管理	175
101	6月19日	鹿児島県	鹿児島女子短期大学	生活設計とリスク管理	4
102	6月19日	香川県	香川大学	生活設計とリスク管理	22
103	6月20日	東京都	慶應義塾大学	生命保険の基礎知識	20
104	6月20日	東京都	日本国際教育支援協会	ソナソナ	17
105	6月20日	大阪府	近畿大学	生命保険の基礎知識	68
106	6月20日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	8
107	6月20日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	23
108	6月20日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	10
109	6月20日	東京都	東京経済大学	リスクに備える	120
110	6月20日	東京都	明治学院大学	リスクに備える	110
111	6月20日	岡山県	岡山大学	生活設計とリスク管理	60
112	6月23日	大阪府	関西大学	生活設計とリスク管理	48
113	6月23日	東京都	東京理科大学	リスクに備える	32

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
114	6月24日	神奈川県	関東学院大学	リスクに備える	73
115	6月24日	大阪府	近畿大学	医療保険と介護保険	88
116	6月25日	兵庫県	神戸親和大学	リスクに備える	32
117	6月25日	大分県	大分大学	生活設計とリスク管理	55
118	6月25日	長野県	長野県立大学	リスクに備える	65
119	6月25日	三重県	四日市大学	生活設計とリスク管理	11
120	6月26日	東京都	日本大学	リスクに備える	127
121	6月26日	長野県	長野大学	リスクに備える	51
122	6月27日	大分県	東九州短期大学	生活設計とリスク管理	16
123	6月27日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	226
124	6月27日	岡山県	岡山県立津山商業高等学校	ソナソナ	9
125	6月27日	岡山県	岡山県立津山商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	9
126	6月28日	京都府	RIS関西	生活設計とリスク管理	51
127	6月30日	東京都	目白大学	生活設計とリスク管理	70
128	6月30日	三重県	英心高等学校	成年になるということ	36
129	7月1日	京都府	立命館大学	生命保険の基礎知識	21
130	7月1日	京都府	京都先端科学大学	生活設計とリスク管理	129
131	7月2日	三重県	四日市大学	生命保険の基礎知識	10
132	7月3日	大分県	佐伯市立直川中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	19
133	7月5日	大阪府	浪速高等学校	ソナソナ	7
134	7月5日	大阪府	浪速高等学校	生活設計とリスクへの備え	7
135	7月7日	山梨県	都留文科大学	生活設計とリスク管理	95
136	7月8日	愛知県	愛知学院大学	生命保険の基礎知識	127
137	7月8日	京都府	京都先端科学大学	生命保険の基礎知識	131
138	7月9日	東京都	東京都立千歳丘高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	225
139	7月9日	東京都	明治大学	リスクに備える	215
140	7月10日	東京都	明星大学	リスクに備える	36
141	7月11日	広島県	広島福祉専門学校	生活設計とリスク管理	18
142	7月11日	千葉県	柏市立手賀中学校	成年になるということ	25
143	7月14日	東京都	日本女子大学	生活設計とリスク管理	34
144	7月17日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	リスクに備える	40
145	7月17日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	リスクに備える	36
146	7月17日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	リスクに備える	38
147	7月17日	富山県	富山県立大門高等学校	君とみらいとライフプラン	115
148	7月17日	富山県	富山県立大門高等学校	ほけんのキホン for Beginners	115
149	7月22日	長崎県	長崎県立大学	生活設計とリスク管理	54
150	7月22日	福島県	福島大学	生活設計とリスク管理	144
151	8月1日	大阪府	近畿大学	ソナソナ	76
152	8月1日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	76
153	8月8日	大阪府	大阪公立大学	生活設計とリスク管理	587
154	8月31日	千葉県	和洋女子大学	生活設計とリスク管理	97
155	9月2日	岐阜県	岐阜県立海津明誠高等学校	生活設計とリスクへの備え	16
156	9月4日	福岡県	福岡県立嘉徳総合高等学校	ソナソナ	50
157	9月4日	福岡県	福岡県立嘉徳総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	50
158	9月9日	兵庫県	彩星工科高等学校	ソナソナ	40
159	9月9日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
160	9月12日	岐阜県	岐阜県立大垣養老高等学校	君とみらいとライフプラン	114
161	9月12日	岐阜県	岐阜県立大垣養老高等学校	生活設計とリスクへの備え	114
162	9月18日	埼玉県	文京学院大学	生活設計とリスク管理	46
163	9月18日	香川県	香川大学	生命保険の基礎知識	28
164	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
165	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
166	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
167	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
168	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
169	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
170	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
171	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
172	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
173	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
174	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
175	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
176	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
177	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
178	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
179	9月19日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	30
180	9月22日	東京都	東京都立小山台高等学校	ソナソナ	12
181	9月22日	東京都	東京都立小山台高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	12
182	9月24日	京都府	京都市立日吉ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	24
183	9月24日	京都府	京都市立日吉ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	24
184	9月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
185	9月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
186	9月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	40
187	9月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	40
188	9月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	40
189	9月25日	埼玉県	文京学院大学	医療保険と介護保険	32
190	9月25日	京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校	リスクに備える	39
191	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	君とみらいとライフプラン	36
192	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	成年になるということ	36
193	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	君とみらいとライフプラン	37
194	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	成年になるということ	37
195	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	君とみらいとライフプラン	39
196	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	成年になるということ	39
197	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	君とみらいとライフプラン	37
198	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	成年になるということ	37
199	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	君とみらいとライフプラン	36
200	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	成年になるということ	36
201	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	君とみらいとライフプラン	38
202	9月25日	東京都	東京都立上水高等学校	成年になるということ	38
203	9月26日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
204	9月26日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
205	9月26日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
206	9月26日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
207	9月26日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
208	9月26日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
209	9月29日	東京都	東京都立小山台高等学校	君とみらいとライフプラン	10
210	9月29日	東京都	東京都立小山台高等学校	生活設計とリスクへの備え	10
211	9月30日	大阪府	関西大学	生活設計とリスク管理	212
212	9月30日	東京都	法政大学	生命保険の基礎知識	12
213	10月1日	愛知県	日本福祉大学	生活設計とリスク管理	154
214	10月2日	東京都	芝国際中学校	リスクに備える	23
215	10月2日	埼玉県	文京学院大学	公的年金と個人年金	40
216	10月4日	東京都	芝国際中学校	リスクに備える	29
217	10月4日	東京都	芝国際中学校	リスクに備える	29
218	10月6日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	39
219	10月6日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	37
220	10月7日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	37
221	10月7日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	38
222	10月8日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	36
223	10月8日	愛知県	日本福祉大学	公的年金と個人年金	124
224	10月8日	愛知県	中京大学	生活設計とリスク管理	40
225	10月8日	奈良県	奈良県立五條高等学校	成年になるということ	217
226	10月9日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	39
227	10月9日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	38

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
228	10月9日	長野県	信州大学	生活設計とリスク管理	64
229	10月9日	新潟県	松陰高等学校	ほけんのキホン for Beginners	16
230	10月9日	新潟県	松陰高等学校	成年になるということ	16
231	10月10日	北海道	札幌大学	生活設計とリスク管理	49
232	10月10日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	36
233	10月10日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	40
234	10月10日	島根県	島根大学	生活設計とリスク管理	70
235	10月10日	沖縄県	琉球大学	生活設計とリスク管理	150
236	10月10日	茨城県	茨城大学	生活設計とリスク管理	54
237	10月14日	京都府	京都府立洛北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
238	10月14日	京都府	京都府立洛北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
239	10月14日	京都府	京都府立洛北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
240	10月14日	兵庫県	神戸東洋日本語学院	生活設計とリスク管理	17
241	10月14日	岡山県	旭川荘厚生専門学院	生活設計とリスク管理	12
242	10月14日	滋賀県	滋賀大学	生活設計とリスク管理	40
243	10月15日	福井県	福井大学	生活設計とリスク管理	72
244	10月16日	大阪府	大阪府立枚方なぎさ高等学校	ソナソナ	8
245	10月16日	大阪府	大阪府立枚方なぎさ高等学校	ソナソナ	18
246	10月17日	京都府	京都府立洛北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	38
247	10月17日	京都府	京都府立洛北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	36
248	10月17日	北海道	札幌大学	生命保険の基礎知識	42
249	10月18日	石川県	星稜高等学校	ソナソナ	1
250	10月20日	京都府	京都府立洛北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	36
251	10月20日	京都府	京都府立洛北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
252	10月20日	大阪府	大阪府立枚方なぎさ高等学校	生活設計とリスクへの備え	16
253	10月20日	愛知県	名古屋学院大学	生命保険の基礎知識	108
254	10月20日	愛知県	名古屋学院大学	生命保険の基礎知識	102
255	10月20日	広島県	広島大学	生活設計とリスク管理	100
256	10月21日	大阪府	大阪府立枚方なぎさ高等学校	ソナソナ	15
257	10月21日	大阪府	近畿大学	ほけんのキホン for Beginners	156
258	10月22日	神奈川県	専修大学	生活設計とリスク管理	24
259	10月22日	茨城県	茨城県立波崎柳川高等学校	自助・共助・公助について考えよう	47
260	10月22日	埼玉県	文京学院大学	君とみらいとライフプラン	32
261	10月22日	熊本県	熊本県立高森高等学校	君とみらいとライフプラン	63
262	10月22日	熊本県	熊本県立高森高等学校	生活設計とリスクへの備え	63
263	10月23日	大阪府	大阪府立花園高等学校	生活設計とリスクへの備え	284
264	10月24日	東京都	東京都立第三商業高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	6
265	10月27日	東京都	お茶の水女子大学	生活設計とリスク管理	32
266	10月27日	愛知県	名古屋学院大学	公的年金と個人年金	103
267	10月27日	愛知県	名古屋学院大学	公的年金と個人年金	92
268	10月28日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ソナソナ	35
269	10月28日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
270	10月28日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ソナソナ	30
271	10月28日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
272	10月28日	宮崎県	南九州大学短期大学部	生活設計とリスク管理	22
273	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ソナソナ	31
274	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
275	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ソナソナ	33
276	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
277	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ソナソナ	30
278	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
279	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ソナソナ	30
280	10月29日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
281	10月29日	福岡県	福岡医療秘書福祉専門学校	生活設計とリスク管理	25
282	10月29日	東京都	大東文化大学第一高等学校	ソナソナ	35
283	10月29日	東京都	大東文化大学第一高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
284	10月29日	千葉県	千葉大学	生活設計とリスク管理	258

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
285	10月30日	大阪府	大阪教育大学	生活設計とリスク管理	15
286	10月30日	千葉県	成田国際福祉専門学校	生活設計とリスク管理	16
287	10月30日	神奈川県	鎌倉女子大学短期大学部	生活設計とリスク管理	89
288	10月31日	岐阜県	岐阜県立東濃フロンティア高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
289	11月4日	東京都	東京都立立川高等学校	自助・共助・公助について考えよう	28
290	11月5日	茨城県	茨城県立鉾田第一高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	12
291	11月5日	千葉県	中央学院大学	生命保険の基礎知識	16
292	11月5日	千葉県	中央学院大学	生命保険の基礎知識	31
293	11月6日	大阪府	大阪教育大学	生活設計とリスク管理	170
294	11月7日	兵庫県	兵庫県立多可高等学校	ほけんのキホン for Beginners	45
295	11月7日	東京都	帝京大学	生命保険の基礎知識	33
296	11月7日	北海道	北海道長沼高等学校	ソナソナ	28
297	11月7日	北海道	北海道長沼高等学校	ほけんのキホン for Beginners	28
298	11月10日	千葉県	明聖高等学校	君とみらいとライフプラン	39
299	11月10日	千葉県	明聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
300	11月10日	千葉県	明聖高等学校	君とみらいとライフプラン	20
301	11月10日	千葉県	明聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	20
302	11月10日	千葉県	明聖高等学校	君とみらいとライフプラン	25
303	11月10日	千葉県	明聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
304	11月10日	愛知県	名古屋学院大学	医療保険と介護保険	78
305	11月10日	愛知県	名古屋学院大学	医療保険と介護保険	91
306	11月11日	山形県	羽陽学園短期大学	生活設計とリスク管理	15
307	11月12日	兵庫県	兵庫県立播磨南高等学校	生活設計とリスクへの備え	132
308	11月13日	広島県	広陵高等学校	成年になるということ	410
309	11月13日	千葉県	千葉県立佐倉南高等学校	生活設計とリスクへの備え	13
310	11月13日	鳥取県	公立鳥取環境大学	リスクに備える	46
311	11月13日	東京都	東京都立工芸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	51
312	11月14日	鳥取県	YMCA米子医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	8
313	11月14日	北海道	江別市立江別第二中学校	成年になるということ	94
314	11月14日	北海道	江別市立江別第二中学校	リスクに備える	94
315	11月17日	千葉県	明聖高等学校	ソナソナ	29
316	11月17日	千葉県	明聖高等学校	ほけんのキホン for Beginners	29
317	11月17日	千葉県	明聖高等学校	ソナソナ	28
318	11月17日	千葉県	明聖高等学校	ほけんのキホン for Beginners	28
319	11月17日	千葉県	明聖高等学校	ソナソナ	22
320	11月17日	千葉県	明聖高等学校	ほけんのキホン for Beginners	22
321	11月17日	群馬県	高崎商科大学	生活設計とリスク管理	67
322	11月18日	愛知県	I. M. I 高等学院	ソナソナ	4
323	11月18日	愛知県	I. M. I 高等学院	生活設計とリスクへの備え	4
324	11月18日	大阪府	守口市立樟風中学校	ソナソナ	64
325	11月18日	大阪府	守口市立樟風中学校	リスクに備える	64
326	11月18日	大阪府	守口市立樟風中学校	ソナソナ	59
327	11月18日	大阪府	守口市立樟風中学校	リスクに備える	59
328	11月18日	群馬県	高崎商科大学	生活設計とリスク管理	12
329	11月19日	神奈川県	神奈川県立白山高等学校	自助・共助・公助について考えよう	29
330	11月20日	神奈川県	アレセイア湘南高等学校	生活設計とリスクへの備え	19
331	11月20日	神奈川県	アレセイア湘南高等学校	生活設計とリスクへの備え	19
332	11月20日	神奈川県	アレセイア湘南高等学校	生活設計とリスクへの備え	20
333	11月20日	山形県	惺山高等学校	ソナソナ	233
334	11月20日	山形県	惺山高等学校	ほけんのキホン for Beginners	233
335	11月20日	愛知県	中京大学	生命保険の基礎知識	17
336	11月25日	群馬県	高崎商科大学	君とみらいとライフプラン	12
337	11月25日	東京都	中央大学	リスクに備える	72
338	11月26日	大阪府	大阪医療秘書福祉&IT専門学校	生活設計とリスク管理	11
339	11月26日	神奈川県	アレセイア湘南高等学校	ソナソナ	20
340	11月26日	神奈川県	アレセイア湘南高等学校	ソナソナ	21
341	11月26日	東京都	専修大学	リスクに備える	19

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
342	11月26日	高知県	高知市立高知商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	256
343	11月26日	東京都	東京都立桜修館中等教育学校	成年になるということ	145
344	11月26日	東京都	東京都立荻窪高等学校	ほけんのキホン for Beginners	9
345	11月26日	東京都	東京都立荻窪高等学校	ほけんのキホン for Beginners	19
346	11月26日	東京都	東京都立荻窪高等学校	ほけんのキホン for Beginners	20
347	11月27日	静岡県	浜松学院大学	生活設計とリスク管理	17
348	11月27日	静岡県	静清高等学校	君とみらいとライフプラン	10
349	11月27日	静岡県	静清高等学校	生活設計とリスクへの備え	10
350	11月27日	神奈川県	関東学院大学	リスクに備える	17
351	11月28日	神奈川県	アレセア湘南高等学校	ソナソナ	23
352	11月28日	兵庫県	神戸女子大学	生活設計とリスク管理	48
353	11月28日	長野県	信州大学	生活設計とリスク管理	70
354	11月28日	岡山県	川崎医科大学	生活設計とリスク管理	72
355	11月29日	東京都	東京都立砂川高等学校	君とみらいとライフプラン	45
356	11月29日	東京都	東京都立砂川高等学校	生活設計とリスクへの備え	45
357	12月1日	北海道	北海道当別高等学校	成年になるということ	33
358	12月1日	神奈川県	聖ヶ丘保育専門学校	生活設計とリスク管理	56
359	12月1日	東京都	学習院大学	リスクに備える	96
360	12月1日	神奈川県	東洋英和女学院大学	リスクに備える	115
361	12月1日	神奈川県	東洋英和女学院大学	リスクに備える	115
362	12月2日	岡山県	山陽学園大学	生活設計とリスク管理	26
363	12月2日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
364	12月2日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
365	12月2日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	19
366	12月2日	大分県	大分県立大分商業高等学校	ソナソナ	36
367	12月2日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	36
368	12月2日	大分県	大分県立大分商業高等学校	ソナソナ	35
369	12月2日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	35
370	12月2日	山口県	山口大学	生命保険と税金の知識	30
371	12月3日	千葉県	和洋女子大学	生活設計とリスク管理	150
372	12月3日	千葉県	敬愛大学	生活設計とリスク管理	4
373	12月3日	大分県	大分県立大分商業高等学校	ソナソナ	36
374	12月3日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	36
375	12月3日	大分県	大分県立大分商業高等学校	ソナソナ	37
376	12月3日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	37
377	12月4日	青森県	八戸工業大学第一高等学校	ソナソナ	162
378	12月4日	青森県	八戸工業大学第一高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	162
379	12月4日	岐阜県	岐阜協立大学	リスクに備える	8
380	12月4日	兵庫県	甲南大学	リスクに備える	3
381	12月5日	岐阜県	岐阜県立恵那南高等学校	ほけんのキホン for Beginners	40
382	12月5日	奈良県	帝塚山大学	生命保険の基礎知識	2
383	12月5日	大阪府	大学コンソーシアム大阪	リスクに備える	145
384	12月5日	茨城県	茨城大学	生活設計とリスク管理	28
385	12月8日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	ソナソナ	20
386	12月8日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	事例から考えるリスクマネジメント	20
387	12月8日	神奈川県	聖ヶ丘保育専門学校	生活設計とリスク管理	36
388	12月9日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	ソナソナ	27
389	12月9日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	事例から考えるリスクマネジメント	27
390	12月9日	岡山県	山陽学園大学	生命保険の基礎知識	26
391	12月9日	石川県	石川県立工業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	39
392	12月9日	石川県	石川県立工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	34
393	12月9日	石川県	石川県立工業高等学校	成年になるということ	28
394	12月9日	石川県	石川県立工業高等学校	成年になるということ	39
395	12月9日	千葉県	麗澤大学	リスクに備える	6
396	12月9日	宮城県	尚絅学院大学	リスクに備える	20
397	12月10日	北海道	酪農学園大学	生活設計とリスク管理	309
398	12月10日	広島県	県立広島大学	リスクに備える	47

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
399	12月10日	愛知県	名古屋短期大学	リスクに備える	44
400	12月10日	東京都	東京都立青井高等学校	成年になるということ	80
401	12月11日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	ソナソナ	24
402	12月11日	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	事例から考えるリスクマネジメント	24
403	12月11日	千葉県	江戸川大学	生活設計とリスク管理	19
404	12月11日	兵庫県	神戸電子専門学校	生命保険の基礎知識	16
405	12月11日	兵庫県	神戸電子専門学校	生命保険の基礎知識	16
406	12月11日	大分県	大分県立大分商業高等学校	ソナソナ	37
407	12月11日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	37
408	12月11日	愛知県	椛山女学園大学	リスクに備える	28
409	12月12日	新潟県	新潟県立羽茂高等学校	ソナソナ	12
410	12月12日	新潟県	新潟県立羽茂高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	12
411	12月12日	大分県	大分県立大分商業高等学校	ソナソナ	35
412	12月12日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	35
413	12月12日	東京都	東京都立小金井工科高等学校	成年になるということ	13
414	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	ソナソナ	23
415	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	生活設計とリスクへの備え	23
416	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	ソナソナ	20
417	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	生活設計とリスクへの備え	20
418	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	ソナソナ	18
419	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	生活設計とリスクへの備え	18
420	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	ソナソナ	20
421	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	生活設計とリスクへの備え	20
422	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	ソナソナ	12
423	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	生活設計とリスクへの備え	12
424	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	ソナソナ	19
425	12月15日	東京都	東京都立葛西南高等学校	生活設計とリスクへの備え	19
426	12月15日	兵庫県	兵庫県立香住高等学校	ほけんのキホン for Beginners	29
427	12月15日	兵庫県	兵庫県立香住高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
428	12月15日	愛知県	愛知文教女子短期大学	生活設計とリスク管理	39
429	12月15日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	20
430	12月15日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	10
431	12月15日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	14
432	12月16日	東京都	実践女子大学	生命保険の基礎知識	44
433	12月16日	大阪府	箕面学園福祉保育専門学校	生活設計とリスク管理	34
434	12月18日	大阪府	大阪府立和泉高等学校	ほけんのキホン for Beginners	287
435	12月18日	沖縄県	伊江村立伊江中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	30
436	12月19日	広島県	広島福祉専門学校	生活設計とリスク管理	40
437	12月19日	福島県	福島県立川俣高等学校	成年になるということ	20
438	12月22日	山梨県	都留文科大学	生活設計とリスク管理	73
439	12月22日	神奈川県	湘南医療福祉専門学校	ソナソナ	25
440	12月22日	神奈川県	湘南医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	25
441	12月23日	大阪府	関西大学	生命保険の基礎知識	198
442	12月24日	山口県	山口芸術短期大学	生活設計とリスク管理	44
443	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	19
444	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	19
445	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	9
446	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	9
447	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	9
448	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	9
449	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	16
450	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	16
451	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	18
452	12月24日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	18
453	12月26日	愛知県	愛知県立豊橋西高等学校	ほけんのキホン for Beginners	29
454	12月26日	愛知県	愛知県立豊橋西高等学校	成年になるということ	29
455	1月6日	大阪府	大阪教育大学	生活設計とリスク管理	168

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
456	1月7日	千葉県	植草学園大学	生活設計とリスク管理	131
457	1月12日	神奈川県	鎌倉女子大学	生活設計とリスク管理	20
458	1月13日	神奈川県	立花学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
459	1月13日	神奈川県	立花学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
460	1月13日	香川県	ヒューマンキャンパス高等学校	君とみらいとライフプラン	34
461	1月13日	香川県	ヒューマンキャンパス高等学校	生活設計とリスクへの備え	44
462	1月13日	愛知県	愛知教育大学	生命保険の基礎知識	38
463	1月13日	大阪府	関西大学	医療保険と介護保険	203
464	1月14日	山口県	山口県立山口農業高等学校	生活設計とリスクへの備え	18
465	1月14日	神奈川県	立花学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
466	1月14日	神奈川県	立花学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
467	1月14日	大阪府	大阪教育大学	事例から考えるリスクマネジメント	23
468	1月14日	埼玉県	埼玉県立羽生実業高等学校	ソナソナ	28
469	1月14日	埼玉県	埼玉県立羽生実業高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
470	1月15日	埼玉県	埼玉県立秩父高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
471	1月15日	長野県	長野県下高井農林高等学校	ほけんのキホン for Beginners	51
472	1月15日	島根県	島根県立松江農林高等学校	成年になるということ	68
473	1月15日	埼玉県	埼玉県立羽生実業高等学校	ソナソナ	13
474	1月15日	埼玉県	埼玉県立羽生実業高等学校	生活設計とリスクへの備え	13
475	1月15日	島根県	島根大学	生命保険の基礎知識	39
476	1月15日	京都府	同志社女子大学	公的年金と個人年金	46
477	1月16日	埼玉県	埼玉県立羽生実業高等学校	ソナソナ	22
478	1月16日	埼玉県	埼玉県立羽生実業高等学校	生活設計とリスクへの備え	22
479	1月20日	大阪府	関西大学	公的年金と個人年金	120
480	1月20日	大阪府	近畿大学	ほけんのキホン for Beginners	132
481	1月21日	宮城県	宮城県石巻商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	22
482	1月21日	宮城県	宮城県石巻商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	20
483	1月21日	宮城県	宮城県石巻商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	21
484	1月21日	宮城県	宮城県石巻商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	22
485	1月21日	山口県	山口県立山口農業高等学校	ソナソナ	18
486	1月21日	長崎県	長崎県立壱岐高等学校	君とみらいとライフプラン	31
487	1月21日	長崎県	長崎県立壱岐高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
488	1月21日	広島県	広島大学	リスクに備える	118
489	1月23日	北海道	函館大谷短期大学	生活設計とリスク管理	22
490	1月23日	北海道	北海道別海高等学校	ソナソナ	64
491	1月23日	北海道	北海道別海高等学校	君とみらいとライフプラン	64
492	1月23日	北海道	北海道別海高等学校	成年になるということ	64
493	1月25日	茨城県	茨城県立守谷高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
494	1月25日	茨城県	茨城県立守谷高等学校	成年になるということ	20
495	1月25日	茨城県	茨城県立守谷高等学校	成年になるということ	24
496	1月25日	茨城県	茨城県立守谷高等学校	成年になるということ	23
497	1月25日	茨城県	茨城県立守谷高等学校	成年になるということ	22
498	1月25日	茨城県	茨城県立守谷高等学校	成年になるということ	21
499	1月25日	茨城県	茨城県立守谷高等学校	成年になるということ	23
500	1月26日	大阪府	大阪社会福祉専門学校	生活設計とリスク管理	22
501	1月26日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	ソナソナ	37
502	1月26日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
503	1月27日	大阪府	大阪社会福祉専門学校	生活設計とリスク管理	22
504	1月27日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	ソナソナ	38
505	1月27日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
506	1月28日	福岡県	平岡介護福祉専門学校	生活設計とリスク管理	29
507	1月28日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	34
508	1月28日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
509	1月28日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	ソナソナ	34
510	1月28日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
511	1月28日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	ソナソナ	35
512	1月28日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	生活設計とリスクへの備え	35

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
513	1月29日	埼玉県	春日部市立葛飾中学校	リスクに備える	157
514	1月29日	熊本県	熊本県立高森高等学校	ソナソナ	60
515	1月29日	熊本県	熊本県立高森高等学校	成年になるということ	60
516	1月29日	宮城県	仙台医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	70
517	1月29日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	35
518	1月29日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
519	1月29日	新潟県	北陸福祉保育専門学校	生活設計とリスク管理	18
520	1月29日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	ソナソナ	38
521	1月29日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
522	1月30日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	34
523	1月30日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
524	1月30日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	30
525	1月30日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
526	1月30日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	ソナソナ	35
527	1月30日	大阪府	大阪府立日根野高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
528	2月2日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	29
529	2月2日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
530	2月2日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	28
531	2月2日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
532	2月3日	埼玉県	埼玉県立秩父高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
533	2月3日	埼玉県	埼玉県立秩父高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
534	2月3日	埼玉県	埼玉県立秩父高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
535	2月3日	埼玉県	埼玉県立秩父高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
536	2月3日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	35
537	2月3日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
538	2月3日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	ソナソナ	36
539	2月3日	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
540	2月3日	沖縄県	沖縄県立陽明高等学校	ソナソナ	18
541	2月3日	沖縄県	沖縄県立陽明高等学校	成年になるということ	18
542	2月3日	沖縄県	沖縄県立陽明高等学校	ソナソナ	124
543	2月3日	沖縄県	沖縄県立陽明高等学校	成年になるということ	124
544	2月4日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
545	2月4日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
546	2月4日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
547	2月4日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
548	2月4日	群馬県	桐生市立商業高等学校	君とみらいとライフプラン	198
549	2月4日	群馬県	桐生市立商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	198
550	2月4日	佐賀県	佐賀大学	生活設計とリスク管理	81
551	2月5日	埼玉県	埼玉県立秩父高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
552	2月5日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
553	2月5日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
554	2月6日	静岡県	静岡県立浜松湖北高等学校	生活設計とリスクへの備え	11
555	2月6日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	ソナソナ	32
556	2月6日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
557	2月6日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	成年になるということ	32
558	2月6日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
559	2月6日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
560	2月6日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
561	2月6日	長崎県	長崎県立鳴滝高等学校	成年になるということ	24
562	2月6日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
563	2月9日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	ソナソナ	25
564	2月9日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
565	2月9日	茨城県	茨城県立高萩清松高等学校	成年になるということ	94
566	2月9日	香川県	四国学院大学専門学校	生活設計とリスク管理	9
567	2月9日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
568	2月9日	岡山県	岡山医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	52
569	2月10日	岡山県	岡山県立新見高等学校	ソナソナ	25

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
570	2月10日	岡山県	岡山県立新見高等学校	君とみらいとライフプラン	25
571	2月10日	新潟県	新潟県立新発田商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
572	2月10日	新潟県	新潟県立新発田商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	36
573	2月10日	新潟県	新潟県立新発田商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	36
574	2月12日	東京都	東京都立芦花高等学校	ソナソナ	37
575	2月12日	東京都	東京都立芦花高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
576	2月12日	東京都	東京都立芦花高等学校	ソナソナ	34
577	2月12日	東京都	東京都立芦花高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
578	2月12日	山形県	山形県立長井工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	47
579	2月12日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	成年になるということ	37
580	2月12日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	成年になるということ	33
581	2月12日	長野県	信州介護福祉専門学校	生活設計とリスク管理	11
582	2月13日	東京都	東京都立芦花高等学校	ソナソナ	41
583	2月13日	東京都	東京都立芦花高等学校	生活設計とリスクへの備え	41
584	2月13日	東京都	東京都立芦花高等学校	ソナソナ	33
585	2月13日	東京都	東京都立芦花高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
586	2月13日	三重県	ユマニテク医療福祉大学校	生命保険の基礎知識	37
587	2月13日	三重県	ユマニテク医療福祉大学校	生活設計とリスク管理	37
588	2月14日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	30
589	2月14日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	30
590	2月14日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	25
591	2月14日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	32
592	2月14日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	32
593	2月14日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	19
594	2月14日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	168
595	2月16日	鹿児島県	鹿児島医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	11
596	2月16日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	ソナソナ	33
597	2月16日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	君とみらいとライフプラン	33
598	2月16日	宮崎県	宮崎県立高千穂高等学校	成年になるということ	61
599	2月17日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	成年になるということ	35
600	2月17日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	ソナソナ	26
601	2月17日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	君とみらいとライフプラン	26
602	2月17日	熊本県	熊本県立松橋高等学校	成年になるということ	53
603	2月18日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	ソナソナ	36
604	2月18日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	君とみらいとライフプラン	36
605	2月19日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	ソナソナ	30
606	2月19日	東京都	東京都立南葛飾高等学校	君とみらいとライフプラン	30
607	2月20日	茨城県	茨城県立高萩清松高等学校	ほけんのキホン for Beginners	94
608	2月20日	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	生活設計とリスクへの備え	260
609	2月20日	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	成年になるということ	260
610	2月20日	長崎県	長崎県立川棚高等学校	ほけんのキホン for Beginners	42
611	2月24日	東京都	東京都立富士高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
612	2月26日	東京都	東京都立東久留米総合高等学校	ソナソナ	36
613	2月26日	東京都	東京都立東久留米総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
614	2月26日	鹿児島県	いちき串木野市立市来中学校	君とみらいとライフプラン	47
615	2月26日	鹿児島県	いちき串木野市立市来中学校	成年になるということ	47
616	2月26日	東京都	東京都立富士高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
617	2月26日	東京都	東京都立富士高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
618	2月28日	群馬県	沼田市立池田中学校	成年になるということ	14
619	2月28日	群馬県	群馬県立沼田高等学校	成年になるということ	15
620	2月28日	群馬県	沼田市立池田中学校	成年になるということ	19
621	3月2日	山口県	宇部フロンティア大学附属香川高等学校	ソナソナ	48
622	3月2日	山口県	宇部フロンティア大学附属香川高等学校	生活設計とリスクへの備え	48
623	3月2日	山口県	宇部フロンティア大学附属香川高等学校	ソナソナ	52
624	3月2日	山口県	宇部フロンティア大学附属香川高等学校	生活設計とリスクへの備え	52
625	3月3日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	32
626	3月3日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	32

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
627	3月3日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	34
628	3月3日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	30
629	3月3日	京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校	リスクに備える	35
630	3月4日	長崎県	諫早市立諫早中学校	君とみらいとライフプラン	198
631	3月4日	長崎県	諫早市立諫早中学校	成年になるということ	198
632	3月5日	佐賀県	佐賀学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
633	3月6日	佐賀県	佐賀学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
634	3月6日	佐賀県	佐賀学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
635	3月6日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	39
636	3月6日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
637	3月6日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	38
638	3月6日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
639	3月9日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	ソナソナ	51
640	3月9日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	51
641	3月9日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	ソナソナ	43
642	3月9日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	43
643	3月9日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
644	3月9日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
645	3月9日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
646	3月9日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
647	3月9日	大分県	大分中学校	君とみらいとライフプラン	21
648	3月9日	大分県	大分中学校	リスクに備える	21
649	3月9日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	36
650	3月9日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
651	3月9日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	37
652	3月9日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
653	3月10日	愛知県	愛知県立岩倉総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
654	3月10日	愛知県	愛知県立岩倉総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
655	3月10日	愛知県	愛知県立岩倉総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
656	3月10日	愛知県	愛知県立岩倉総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
657	3月10日	石川県	星稜高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
658	3月10日	石川県	星稜高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
659	3月10日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	40
660	3月10日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
661	3月11日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	38
662	3月11日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	40
663	3月11日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	37
664	3月11日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	37
665	3月11日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
666	3月11日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
667	3月11日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	40
668	3月11日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
669	3月11日	東京都	東京都立武蔵高等学校	成年になるということ	146
670	3月12日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
671	3月13日	岡山県	岡山県立新見高等学校	ソナソナ	23
672	3月13日	岡山県	岡山県立新見高等学校	君とみらいとライフプラン	23
673	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	ソナソナ	29
674	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	29
675	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	ソナソナ	29
676	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	29
677	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	ソナソナ	28
678	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	28
679	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	ソナソナ	30
680	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	30
681	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	ソナソナ	32
682	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	32
683	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	ソナソナ	30

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
684	3月13日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	30
685	3月13日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
686	3月16日	愛知県	愛知県立岩倉総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	74
687	3月16日	東京都	東京都立富士高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
688	3月17日	石川県	星稜高等学校	ソナソナ	31
689	3月17日	石川県	星稜高等学校	ソナソナ	32
690	3月17日	東京都	東京都立大崎高等学校	君とみらいとライフプラン	254
691	3月17日	東京都	東京都立大崎高等学校	成年になるということ	254
692	3月18日	埼玉県	春日部市立豊野中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	120
693	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	33
694	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	33
695	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	27
696	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	27
697	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	31
698	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	31
699	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	36
700	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	36
701	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	34
702	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	34
703	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	36
704	3月18日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	36
705	3月18日	東京都	東京都立田無高等学校	成年になるということ	277
706	3月23日	神奈川県	神奈川県立川崎高等学校	君とみらいとライフプラン	191
707	3月23日	神奈川県	神奈川県立川崎高等学校	生活設計とリスクへの備え	191
708	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	君とみらいとライフプラン	37
709	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	君とみらいとライフプラン	38
710	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	君とみらいとライフプラン	36
711	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	君とみらいとライフプラン	36
712	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	君とみらいとライフプラン	36
713	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	君とみらいとライフプラン	40
714	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	君とみらいとライフプラン	38
715	3月23日	東京都	東京都立東大和南高等学校	成年になるということ	261
716	3月23日	東京都	東京都立小台橋高等学校	君とみらいとライフプラン	8
717	3月23日	東京都	東京都立小台橋高等学校	成年になるということ	8
718	3月23日	東京都	東京都立小台橋高等学校	君とみらいとライフプラン	33
719	3月23日	東京都	東京都立小台橋高等学校	成年になるということ	33
720	3月23日	東京都	東京都立小台橋高等学校	君とみらいとライフプラン	41
721	3月23日	東京都	東京都立小台橋高等学校	成年になるということ	41
722	3月23日	東京都	東京都立八丈高等学校	君とみらいとライフプラン	31
723	3月23日	東京都	東京都立八丈高等学校	ソナソナ	31
724	3月24日	東京都	東京都立武蔵野北高等学校	ソナソナ	40
725	3月24日	東京都	東京都立武蔵野北高等学校	生活設計とリスクへの備え	40

合計 36,589

3. 生命保険学習会開催状況一覧

(1) 消費者向け学習会

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
1	5月17日	佐賀県	財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所	e-ライフプランニング	14
2	5月17日	佐賀県	財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所	生活設計とリスク管理	14
3	5月24日	東京都	八王子市生涯学習センター南大沢分館	セカンドライフと生命保険	22
4	6月7日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	生命保険の基礎知識	4
5	6月11日	埼玉県	さいたま市立大古里公民館	セカンドライフと生命保険	31
6	6月14日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	生命保険の基礎知識	4
7	6月21日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	生命保険の基礎知識	4
8	6月24日	北海道	函館消費者協会	医療保険と介護保険	16
9	6月28日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	医療保険と介護保険	4
10	7月5日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	医療保険と介護保険	3
11	7月11日	徳島県	板野町消費生活相談所	セカンドライフと生命保険	20
12	7月12日	山形県	NACS山形分科会	医療保険と介護保険	8
13	7月12日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	セカンドライフと生命保険	3
14	7月19日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	生命保険と税金の知識	3
15	7月26日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	生命保険の基礎知識	3
16	9月3日	富山県	富山市市民学習センター	セカンドライフと生命保険	40
17	9月5日	北海道	芦別市教育委員会	セカンドライフと生命保険	26
18	9月30日	秋田県	ハローワーク秋田 マザーズコーナー	子育て世代の生活設計と生命保険	10
19	10月2日	千葉県	市原市生涯学習センター	セカンドライフと生命保険	15
20	10月4日	北海道	旭川消費者協会	生命保険の基礎知識	35
21	11月10日	長崎県	大村市中央公民館	定年退職準備	10
22	11月12日	東京都	足立区消費者センター	セカンドライフと生命保険	20
23	11月27日	埼玉県	さいたま市立三室公民館	生命保険と税金の知識	21
24	12月1日	千葉県	千葉県生涯大学校	セカンドライフと生命保険	88
25	12月1日	鳥取県	公立鳥取環境大学	医療保険と介護保険	117
26	12月3日	埼玉県	さいたま市立北浦和公民館	セカンドライフと生命保険	22
27	12月19日	岩手県	ジョブカフェ奥州	定年退職準備	19
28	1月7日	千葉県	千葉県生涯大学校	セカンドライフと生命保険	68
29	1月19日	広島県	広島消費者協会	セカンドライフと生命保険	31
30	1月28日	茨城県	取手市消費生活センター	セカンドライフと生命保険	19
31	3月17日	宮城県	村田町役場町民生活課	医療保険と介護保険	22
32	3月25日	東京都	江東区消費者センター	セカンドライフと生命保険	15

合計 731

(2) 従業員・職員向け学習会

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
1	4月9日	東京都	理研計器株式会社	新入社員向け研修	45
2	4月14日	東京都	三菱電機インフォメーションシステムズ労働組合	定年退職準備	41
3	6月6日	大阪府	全日本電線関連産業労働組合連合会大阪事務所	定年退職準備	54
4	6月11日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	公的年金と個人年金	38
5	6月11日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	定年退職準備	38
6	6月13日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	公的年金と個人年金	29
7	6月13日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	29
8	6月16日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	公的年金と個人年金	55
9	6月16日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	定年退職準備	55
10	6月17日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	公的年金と個人年金	37
11	6月17日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	37
12	6月24日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	公的年金と個人年金	41
13	6月24日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	41
14	6月26日	福岡県	株式会社JIMOS	生命保険と税金の知識	18
15	8月4日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	103
16	8月7日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	86
17	8月20日	鳥取県	新日本海新聞社	新入社員向け研修	8
18	8月20日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	20
19	8月20日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	20
20	8月21日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	75
21	8月26日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	41
22	8月26日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	41
23	8月31日	栃木県	栃木県経営管理部職員厚生課	子育て世代の生活設計と生命保険	188
24	9月5日	東京都	ゼリア新薬工業株式会社	定年退職準備	28
25	9月8日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	19
26	9月8日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	19
27	9月11日	広島県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	13
28	9月11日	広島県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	13
29	9月16日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	52
30	9月16日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	52
31	9月29日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	56
32	9月29日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	56
33	10月10日	岩手県	岩手県医療局	定年退職準備	97
34	10月14日	愛知県	株式会社興和工業所	公的年金と個人年金	14
35	10月14日	愛知県	株式会社興和工業所	定年退職準備	14
36	10月23日	埼玉県	埼玉県警察本部	生命保険の基礎知識	22
37	11月7日	岩手県	岩手県医療局	定年退職準備	92
38	11月12日	愛知県	豊橋市役所総務部人事課	定年退職準備	18
39	11月13日	愛知県	豊橋市役所総務部人事課	定年退職準備	25
40	11月14日	東京都	東京ガスiネット株式会社	定年退職準備	34
41	11月14日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	45
42	11月16日	宮崎県	宮崎県教職員互助会	定年退職準備	136
43	12月5日	岡山県	岡山県警察本部	定年退職準備	75
44	12月6日	宮崎県	宮崎県教職員互助会	定年退職準備	65
45	12月6日	宮崎県	宮崎県教職員互助会	定年退職準備	91
46	12月10日	北海道	土木研究所寒地土木研究所	定年退職準備	33
47	1月7日	大阪府	人事院近畿事務局	医療保険と介護保険	38
48	1月13日	東京都	農林水産省大臣官房秘書課	定年退職準備	23
49	1月28日	埼玉県	国税庁税務大学校	生命保険の基礎知識	1,929
50	2月27日	埼玉県	国税庁税務大学校	生命保険の基礎知識	356
51	3月30日	秋田県	ますだ組	生命保険の基礎知識	9

合計 4,564

4. 相談員勉強会開催状況一覧

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
1	6月7日	京都府	全国消費生活相談員協会関西支部	相談事例から学ぶ生命保険	20
2	6月17日	千葉県	松戸市消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	6
3	7月3日	高知県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取時の注意点、「市場リスク」を有する生命保険等	6
4	7月4日	埼玉県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	7
5	7月6日	東京都	全国消費生活相談員協会関東支部	相談事例から学ぶ生命保険	30
6	7月9日	岐阜県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	4
7	7月10日	鹿児島県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	17
8	7月12日	兵庫県	神戸市消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	15
9	7月14日	石川県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	16
10	7月14日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	4
11	7月16日	山口県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	9
12	7月16日	鳥取県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
13	7月17日	大分県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
14	7月17日	和歌山県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	7
15	7月23日	埼玉県	東松山市人権市民相談課	相談事例から学ぶ生命保険	22
16	7月24日	徳島県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	16
17	8月4日	福岡県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取時の注意点	3
18	8月5日	福岡県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	11
19	8月7日	東京都	国民生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	50
20	8月20日	栃木県	栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課	相談事例から学ぶ生命保険	7
21	8月20日	東京都	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
22	8月21日	滋賀県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	2
23	8月21日	島根県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	6
24	8月22日	佐賀県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	15
25	8月22日	山梨県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
26	8月22日	北海道	旭川市消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	10
27	9月3日	新潟県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	17
28	9月3日	栃木県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	7
29	9月4日	神奈川県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	10
30	9月10日	岩手県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	5
31	9月10日	宮城県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	18
32	9月10日	北海道	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	7
33	9月10日	岡山県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	8
34	9月11日	静岡県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	10
35	9月12日	東京都	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点、相談事例から学ぶ生命保険	10
36	9月13日	愛知県	全国消費生活相談員協会中部支部	相談事例から学ぶ生命保険	19
37	9月17日	秋田県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点、相談事例から学ぶ生命保険	5
38	9月17日	北海道	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	6
39	9月24日	三重県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	15
40	10月8日	茨城県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	5
41	10月9日	東京都	国民生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	111
42	10月15日	青森県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	5
43	10月15日	山形県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	11
44	10月16日	北海道	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	8
45	10月16日	東京都	国民生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	321
46	10月21日	北海道	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	8
47	10月29日	群馬県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ、最近の保険商品のポイント	18
48	10月30日	愛知県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	13
49	11月1日	福岡県	全国消費生活相談員協会九州支部	相談事例から学ぶ生命保険	14
50	11月4日	香川県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
51	11月5日	富山県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	11
52	11月5日	長崎県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険、相談事例から学ぶ生命保険	11
53	11月6日	沖縄県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	4
54	11月6日	京都府	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	11
55	11月6日	北海道	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	3

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
56	11月6日	千葉県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	9
57	11月11日	福井県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	7
58	11月12日	大阪府	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	8
59	11月12日	北海道	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	13
60	11月15日	宮城県	NACS東北支部	相談事例から学ぶ生命保険	9
61	11月17日	愛媛県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点、相談事例から学ぶ生命保険	5
62	11月29日	北海道	全国消費生活相談員協会北海道支部	相談事例から学ぶ生命保険	10
63	12月10日	福島県	生命保険意見交換会	保険金・給付金の受取り時の注意点	3
64	1月14日	大分県	大分県消費生活・男女共同参画プラザ	相談事例から学ぶ生命保険	27
65	1月17日	東京都	日本消費者協会	生命保険の基礎知識	6
66	1月17日	宮城県	全国消費生活相談員協会東北支部	生命保険と税金の知識	9
67	1月22日	兵庫県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険、相談事例から学ぶ生命保険	18
68	1月24日	香川県	NACS西日本支部	相談事例から学ぶ生命保険	17
69	2月21日	東京都	日本消費者協会	相談事例から学ぶ生命保険	52

合計 1,194

5. 相談内容別件数（一般相談）

区分	相談内容	2025年度			2024年度	
		累計	占率	前年度比	累計	占率
I 既契約の見直しに関する相談 (理由)	1 保険料負担を減らしたい	15	2.3%	150.0%	10	1.3%
	2 保障を減らしたい	5	0.8%	100.0%	5	0.7%
	3 保障内容を変更（増額含む）したい	9	1.4%	225.0%	4	0.5%
	① 保険料の支払いが困難になったので	3	10.3%	75.0%	4	21.1%
	② 保険料をもっと節約できるのではないかと思って	10	34.5%	166.7%	6	31.6%
	③ 保障が少ないと思うので	1	3.4%	-	0	0.0%
	④ 保障が多いと思うので	2	6.9%	100.0%	2	10.5%
	⑤ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	7	24.1%	100.0%	7	36.8%
	⑥ その他	6	20.7%	-	0	0.0%
		29	4.5%	152.6%	19	2.5%
II 既契約の診断・内容確認に関する相談 (理由)	1 既契約の保障内容を診断して欲しい	19	2.9%	105.6%	18	2.4%
	2 既契約の内容確認をしたい	35	5.4%	100.0%	35	4.7%
	① 保障内容が分からなくなったので	26	48.1%	86.7%	30	56.6%
	② 自分に合っているのか不安だから	18	33.3%	120.0%	15	28.3%
	③ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	2	3.7%	100.0%	2	3.8%
④ その他	8	14.8%	133.3%	6	11.3%	
	54	8.3%	101.9%	53	7.1%	
III 生命保険の加入検討の相談 (理由)	1 商品内容を教えて欲しい	4	0.6%	57.1%	7	0.9%
	2 商品選択のポイントについて教えて欲しい	20	3.1%	80.0%	25	3.3%
	3 自分のニーズに合っているか教えて欲しい	45	6.9%	145.2%	31	4.1%
	4 販売している会社を教えて欲しい	4	0.6%	133.3%	3	0.4%
	5 転換における注意点を教えて欲しい	2	0.3%	-	0	0.0%
	① 営業職員や代理店から勧められている新契約が妥当かどうか確認したいので	35	46.7%	134.6%	26	39.4%
	② 営業職員や代理店から勧められている転換が妥当かどうか確認したいので	3	4.0%	-	0	0.0%
	③ 自分で選んだ保険が妥当かどうか確認したいので	5	6.7%	100.0%	5	7.6%
	④ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	12	16.0%	109.1%	11	16.7%
	⑤ 商品内容に関心を持ったことから	12	16.0%	100.0%	12	18.2%
⑥ その他	8	10.7%	66.7%	12	18.2%	
	75	11.5%	113.6%	66	8.8%	
IV 契約条件に関する相談	1 告知義務について教えて欲しい	41	6.3%	91.1%	45	6.0%
	2 契約年齢範囲について教えて欲しい	1	0.2%	100.0%	1	0.1%
	42	6.5%	91.3%	46	6.1%	
V 生命保険の仕組み・税金・保全に関する相談	1 生命保険の仕組みについて教えて欲しい	94	14.4%	77.7%	121	16.1%
	2 税金について教えて欲しい	102	15.7%	59.3%	172	22.9%
	3 各種手続きについて教えて欲しい	141	21.7%	95.3%	148	19.7%
	337	51.8%	76.4%	441	58.8%	
VI 社会保障制度に関する相談	1 社会保障制度について教えて欲しい	18	2.8%	85.7%	21	2.8%
VII その他	1 営業職員・代理店に関する問い合わせ	74	11.4%	104.2%	71	9.5%
	2 その他	22	3.4%	66.7%	33	4.4%
	96	14.7%	92.3%	104	13.9%	
一般相談合計		651	100%	86.8%	750	100%

6. 新聞・テレビ等からの取材対応

<新聞> 21回

	取材対応日	新聞名	取材内容
1	2025/4/1	上毛新聞	ソナソナ
2	2025/4/10	北海道新聞	ソナソナ
3	2025/4/14	山陽新聞	ソナソナ
4	2025/4/17	京都新聞	ソナソナ
5	2025/4/28	読売新聞	医療保障ガイド
6	2025/4/30	下野新聞	医療保障ガイド
7	2025/5/16	読売新聞	中学生作文コンクール
8	2025/5/23	上毛新聞	中学生作文コンクール
9	2025/6/23	北海道新聞	ねんきんガイド
10	2025/7/2	山陽新聞	ねんきんガイド
11	2025/8/8	京都新聞	全国実態調査
12	2025/10/3	読売新聞	生命保険と税金の知識
13	2025/10/6	下野新聞	生命保険と税金の知識
14	2025/10/16	読売新聞	生活保障に関する調査
15	2025/10/29	上毛新聞	せいほ意見交換会
16	2025/11/13	北海道新聞	全国実態調査
17	2025/11/25	山陽新聞	センターHP 記載内容について
18	2025/12/3	京都新聞	中学生作文コンクール
19	2026/3/10	読売新聞	高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査
20	2026/3/10	下野新聞	ライフプラン情報ブック
21	2026/3/17	読売新聞	高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査

<テレビ> 3回

	取材対応日	テレビ局名	取材内容
1	2025/4/25	TBS	全国実態調査
2	2025/6/9	TOKYO MX	生活保障に関する調査
3	2025/10/1	フジテレビ	ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査

<その他> 1回

	取材対応日	新聞名	取材内容
1	2025/6/23	金融経済新聞	センター新代表理事について

7. 研究会の開催状況

※開催月日順→発表順で掲載

(1) 保険事例研究会

<東京>

	開催月日	テ ー マ
1	5月14日	重過失免責と故意免責（いずれも否定）
2	6月4日	再入院を「継続した1回の入院」とみなすとき
3	7月2日	受取人変更の成否
4	9月3日	健康悪化後の保険契約失効と直後に復活した際の告知義務違反
5	10月1日	共済契約における告知義務違反の主体—共済契約者・被共済者が異なる事例
6	11月5日	うつ病による入院の支払事由該当性
7	12月3日	先進医療特約の重複加入による重大事由解除、先進医療特約の損害保険性
8	1月7日	保険契約締結時の情報不記載による取締法規違反と保険契約の効力
9	2月4日	インターネットを利用した契約者貸付と民法478条の類推適用

<大阪>

	開催月日	テ ー マ
1	5月9日	保険金受取人の変更の存否
2	6月13日	養老保険における保険契約者の負担すべき費用に関する錯誤の重要性
3	7月11日	他人の生命の共済契約における告知義務違反の重過失の意義
4	9月12日	自動車共済における故意免責条項の適用
5	10月10日	保険金受取人変更の成否および保険料返還合意の有無
6	11月14日	インターネット上の契約者貸付と民法478条の類推適用
7	12月12日	うつ病での入院の必要性
8	1月9日	入院間隔についての保険会社の内規適用の有効性
9	2月13日	先進医療特約の多重契約による重大事由解除とその法的性質

(2) 生保・金融法制研究会

	開催月日	テ ー マ
1	6月6日	特定大規模乗合保険募集人の体制整備義務の強化と残された課題
2	8月18日	保険募集に関する保険業法等の改正について
3	11月27日	令和7年公益通報者保護法改正の概要と生命保険会社実務への影響
4	1月29日	危険選択の効率性と阻害要因
5	3月5日	有価証券報告書による情報開示の直近動向

(3) 生命保険会計研究会

	開催月日	テ ー マ
1	6月19日	海外におけるIFRS第9号の適用状況について
2	9月9日	ソフトウェア会計のオンバランス問題
3	11月10日	Controversies over Accounting for Goodwill, Springer, 2026 「のれんの会計処理に関する論争」
4	2月9日	IASBテクニカルアップデート
5	3月16日	日本における経済価値ベースのソルベンシー規制とICS

(4) 生保関係法制研究会

	開催月日	テ ー マ
1	6月12日	特定大規模乗合保険募集人の体制整備義務の強化と残された課題
2	8月4日	成年後見制度の改正に関する動向
3	9月29日	【損保事案を踏まえた規制見直し】乗合代理店における適切な比較推奨販売の確保に向けた規制見直しと実務上の対応
4	11月6日	団体就業不能保障保険における保険給付条件の明確化に向けた一考察
5	1月19日	弁護士の視点から見た生命保険・金融分野における生成AI
6	3月23日	傷害保険約款における医療処置免責条項について

(5) 生命保険基本判例研究会

	開催月日	テ ー マ
1	5月16日	説明義務違反、適合性の原則（保険業法、金商法）
2	6月20日	遡及保険（責任開始期、承諾前死亡、特別条件を付すべきとき）
3	7月18日	保険約款の効力（拘束力の根拠、保険約款の変更、民法の定型約款規定）
4	9月19日	保険金受取人の変更（保険法前後の規律、遺言による変更）
5	11月21日	保険金請求権の性質等（固有権性、未払年金現価請求権、特別受益・遺留分との関係、遺産分割対象となったときの扱い）
6	12月19日	告知義務違反①（重要事項、主観的・客観的要件、特別の事情、因果関係、復活時）
7	1月16日	告知義務違反②（保険媒介者の告知妨害・不告知教唆、保険会社の過失・取扱疎漏）
8	2月20日	消費者契約法・無催告失効条項

(6) 生活保障におけるプロテクションギャップと生命保険事業に関する研究会

	開催月日	テ ー マ
1	7月4日	生活保障におけるプロテクションギャップを取り巻く現状等と生命保険（事業）の可能性
2	9月17日	保障ギャップについて～文化センター調査結果から見えるもの
3	11月10日	①生命保険における死亡プロテクションギャップと要因分析 ②医療プロテクションギャップの定義に関する考察—GFIAおよびWHOの定義から考える—
4	12月5日	①保険リテラシーとプロテクションギャップ—保険教育が抱える課題— ②死亡保障におけるプロテクションギャップをどう考えるか
5	1月20日	①プロテクションギャップ解消に向けた生命保険会社の戦略的マーケティング～デジタル時代におけるリスク認知と顧客参加型保障モデルの構築に向けて～ ②介護保険プロテクション・ギャップ改善に向けた生命保険会社の介護事業、介護リスクとのかかわり方について
6	3月13日	①プロテクションギャップ解消に向けた生命保険業界の取組み ②生活保障におけるプロテクションギャップを取り巻く社会経済情勢と生命保険（事業）の可能性、特別研究会の2年目に向けて

8. 研究助成者・研究テーマ一覧

※氏名（共同研究者の場合は研究代表者）五十音順で掲載
 ※共同研究は、筆頭者を研究代表者とし、2人目以降の共同研究者は申請書記載順
 ※所属・役職は申請時点のもの

<若手研究者>

No.	氏名	大学・学部	役職	研究テーマ
1	新井 崇弘	多摩大学 経営情報学部	専任講師	「自殺による保険金支給」の特徴に関する定量的研究—経済指標との関連およびその他の経済的理由による自殺との比較—
2	井原 宏隆	常葉大学 法学部法律学科	助教	生命保険における指導助言義務：金融商品販売等に関する議論を手がかりに
3	金尾 悠香	武蔵野大学 法学部	准教授	生命保険契約募集における顧客保護と体制整備（個人責任と企業責任の交錯）—Consumer Duty制度を踏まえて
4	川中 大士朗	早稲田大学 商学学術院商学部	講師（任期付）	期待ベース損失回避モデルの下での保険行動
5	熊代 拓馬	神戸大学 大学院法学研究科	准教授	生命保険会社によるESG開示
6	佐伯 勇介	小樽商科大学 大学院商学研究科 商学専攻	博士後期課程	生命保険会社と生命保険代理店による顧客の獲得価値を高める活動・機能とその調整システムに関する研究
7	宮崎 三喜男	専修大学 経済学部	専任講師	「保険」を鍵概念とした公民科および家庭科におけるfinancial well-being育成のための単元・授業開発に関する研究
8	湯山 智教	専修大学 商学部	准教授	生命保険セクターのプロシクリカリティに関する研究

<一般研究者>

No.	氏名	大学・学部	役職	研究テーマ
1	和泉 徹彦	嘉悦大学 経営経済学部	教授	単身世帯の生命保険加入行動とリスク選好の実証分析
	須田 茂夫	嘉悦大学 付属地域産業文化研究所	客員研究員	
2	香川 崇	富山大学 経済学部	教授	生命保険における保険金請求権の消滅時効 —消滅時効における法的安定性の確保と権利者保護の調整に関する研究—
3	高橋 桂子	実践女子大学 生活科学部	教授	保険・金融リテラシーにおける「わからない(DK)」回答と保険商品の選択行動に関する実証研究
	畑農 鋭矢	明治大学 商学部	専任教授	
	鈴木 健也	明治大学 大学院商学研究科	博士後期課程	
4	中田 裕子	法政大学 法学部	教授	AIおよびアルゴリズムを用いた保険引受と差別のリスク—自動化された判断に対する法的位置づけの検討—
5	吉田 悦章	同志社大学 大学院ビジネス研究科	教授	ウェアラブル端末データを用いた生命保険商品の利点とそのプライミング —台湾など諸外国の事例を手掛かりとした国内への応用を展望して—

【2025年度優秀論文受賞者・受賞論文】

※所属・役職は受賞時点のもの

- ・最優秀論文賞 : 該当者なし
- ・優秀論文賞 : 1編 (共同)
- 受賞者 : 稲倉 典子 氏 (四国大学 経営情報学部 准教授)
- 藤井 陽一朗 氏 (明治大学 商学部 教授)
- 受賞論文 : 新型コロナウイルス感染症のパンデミックが生命保険市場に与えた影響の一考察
- ・研究奨励賞 : 1編
- 受賞者 : 西田 尚輝 氏 (明治大学 研究推進員 (特別研究員))
- 受賞論文 : 戦間期ザール地域におけるフランス人移民の社会保険制度
—生命保険会社の役割に焦点を当てて—

9. 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会の開催状況

※開催月日順→発表順で掲載

保険学セミナー〈東京〉

開催月日	テ ー マ
4月19日	生命保険会社に対する認可と保証の問題 戦間期のフランス国営ザール鉱山を事例として 「平均的保険契約者」の意義
5月17日	EU AI Act: Legal Analysis of the impact of new EU AI regulations on the life insurance business 機関投資家の非伝統的資産投資と受託者責任 ー我が国年金基金によるベンチャー投資を中心とした考察ー Behavioral biases and the demand for savings-based insurance: Differences from other savings plans
7月19日	「突然死」と傷害保険契約における外来性要件ー日中比較法を中心に 保険者の助言・情報提供義務に関するドイツ保険契約法の新規制 女性は男性よりリスク回避的か?ー多面的追加検証ー
9月20日	努力不確実性が予防行動に与える影響 保険契約者配当の法的位置付けと規制のあり方についての序論的考察 ー会社法の規律と保険会社の特性との比較の観点からー
12月13日	生命保険金請求権の『固有権』性の正体 日東保生会社再考ー「開業に至らず」の理由を探る
1月24日	生命保険契約と被保険利益-明治44年改正の謎と置き土産- 保険会社の目的関数と社会厚生ー保険会社の相対規模重視は社会的に見て望ましいか?ー

保険学セミナー<大阪>

開催月日	テ	ー	マ
4月12日	告知事項の重要性 —ここがへんだよ保険法学説—		
	保険金請求権の特別受益の持ち戻しに関する規律 —アメリカ法との比較から—		
	休眠状態の生命保険契約について		
5月10日	情報活用能力を生かした保険教育プログラムの開発実践と効果 —大学生の保険知識と加入行動—		
	大規模自然災害と私的生活保障としての生命保険の課題		
7月12日	ファイナンシャル・ウェルビーイング 健康維持やウェルビーイングに不可欠な「お金」の話		
	生命保険への加入に親が与える影響について —日本と台湾の比較—		
	保険契約における民法478条の適用に関する検討		
9月13日	重大事由解除の片面的強行規定に関する比較法的考察 —ドイツの隠れたオプリーゲンハイト法理から導く解釈論—		
	企業リスクマネジメントの実態と課題： 『日本企業の保険・リスクマネジメントに関する実態調査』を用いた検証		
12月20日	生命保険事業の組織形態としての相互会社と株式会社 —近年の法制整備を踏まえて—		
	日本の高齢者の年齢別生計費：2020年・2023年調査の分析		
1月10日	少額短期保険業者の生損保兼営と効率性		
	事故保険における急激性要件、外来性要件の地位 —英国傷害保険におけるaccident 概念からの示唆—		

保険学セミナー懇談会<東京・大阪>

開催月日	場所	テ	ー	マ
4月19日 5月10日	東京 大阪	2024（令和6）年度「生命保険に関する全国実態調査」について		
9月13日 9月20日	大阪 東京	特定大規模乗合保険募集人の体制整備義務の強化と残された課題		
12月13日	東京	令和7年公益通報者保護法改正の概要と生命保険会社実務への影響		
12月20日	大阪	乗合代理店における適切な比較推奨販売の確保に向けた規制見直しと実務上の対応		
1月10日 1月24日	大阪 東京	有価証券報告書による情報開示の直近動向		

10. 生命保険論集の掲載状況

※生命保険論集掲載順で掲載、敬称略

※所属・役職は生命保険論集掲載時点のもの

発刊号 (発行月)	種別	タイトル	所属	役職	氏名
231号 (6月)	講演	全世代型社会保障の時代における社会保障改革の動向	早稲田大学	教授	菊池 馨実
	論文	外部専門家によるESRの検証と監査人	明治大学	教授	弥永 真生
	論文	傷害疾病保険契約の免責事由としての「重過失」の意義	中央大学	教授	野村 修也
	論文	生命保険契約の情報提供規制違反に係る損害賠償責任の損害を巡る法的問題	早稲田大学	教授	尾形 祥
	論文	精神障害中の自殺・再論	関西大学	教授	原 弘明
	論文	機関投資家によるベンチャーキャピタル投資に関するシミュレーション分析	専修大学	准教授	湯山 智教
	学生論文	Busy Directorsが企業業績に与える影響	慶應義塾大学商学部 柳瀬典由研究会		金尾 大樹 堀 朱里 益山 涼花 吉成 祐也
	学生論文	高齢者雇用の活用が企業に与える影響	明治大学商学部 中林真理子ゼミナール		鈴木 海都 成田 秀弥 橋本 八重 真島 珠生
	懸賞論文	生命保険加入の要因に関する研究【要約】	早稲田大学商学部 星野明雄ゼミナール		青山 拳太郎 榎本 侑一郎
232号 (9月)	論文	ドイツ再生可能エネルギー転換に及ぼす生命保険会社による投資の役割	元敬愛大学	教授	飯野 由美子
	論文	Behavioral Biases and the Demand for Savings-Based Life Insurance - Differences from Other Savings Plans -	成蹊大学	教授	永野 護
	論文	生命保険におけるネット契約の普及・疎外要因 - 2022年度「生活保障に関する調査」個票分析 -	嘉悦大学 嘉悦大学	教授 客員研究員	和泉 徹彦 須田 茂夫
	論文	定額保険の重複加入と重大事由解除の比較法研究	北海道大学	教授	三宅 新
	論文	情報活用能力を生かした保険教育プログラムの開発実践と効果 - 大学生の保険知識と加入行動 -	大阪電気通信大学	特任講師	荒木 千秋
	論文	特定大規模乗合保険募集人の体制整備義務の強化と残された課題	日本生命	課長	小川 快男
232号 別冊 (9月)	論文	家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会 総論 人生100年時代の家族と保険	中央大学	教授	山田 昌弘
	論文	老後を支えるのは誰か - 現代若者の意識から将来を見据える -	弘前大学	教授	羽瀧 一代
	論文	女性の長い一人暮らしの高齢期のための民間保険	大妻女子大学	教授	永瀬 伸子
	論文	結婚市場は現役世代の負担格差を助長するか - 結婚市場の家族規模への影響 -	関西学院大学	准教授	古村 聖
	論文	生命保険金受取人の指定における親族原則 - モラル・リスク排除と二重基準 -	日本大学	教授	久保田 裕之
	論文	加齢が金融資産管理能力に与える影響と金融と福祉の連携 - 保険・信託を活用した高齢者資産サポートシステムの提案 -	慶應義塾大学	教授	駒村 康平
	論文	超高齢社会における後見的労働の社会化	東京大学	助教授	税所 真也

発刊号 (発行月)	種別	タイトル	所属	役職	氏名
233号 (12月)	論文	生命保険事業の組織形態としての相互会社と株式会社 －近年の法制整備を踏まえて－	立命館大学	名誉教授 特任教授	村田 敏一
	論文	生命保険への加入に親が与える影響について －日台の事例－	東洋学園大学	教授	畔上 秀人
	論文	努力不確実性が予防行動に与える影響	早稲田大学	教授	尾崎 祐介
	論文	保険金受取人の変更に関する約款条項の効力	福岡大学	教授	牧 真理子
	論文	保険契約者配当の法的位置付けに関する序論的考察 －株式会社における剰余金の配当との比較の観点から－	日本大学	教授	宮崎 裕介
	論文	日本の高齢者の年齢別生計費 －2020年・2023年調査の分析－	京都先端科学大学 京都大学	准教授 名誉教授	石原 卓典 西村 周三
	論文	告知事項の重要性 －なぜ保険法学説は主観的基準説を支持するのか？－	神戸大学	准教授	熊代 拓馬
	論文	「突然死」と傷害保険契約における外来性の要件 －日中比較法を中心に－	法政大学	博士課程後期	劉 熾妮
233号 特別号 (12月)	論文	パーソナライズ保険と保険プロテクション	慶應義塾大学	教授	堀田 一吉
	論文	法人が保険契約者・保険金受取人である場合の法人役員による被保険者故殺 －事実上の取締役による被保険者故殺の取扱い－	早稲田大学	教授	中村 信男
	論文	保険・金融リテラシーの現状と保険知識の普及啓発の課題 －「生命保険に関する全国実態調査」による分析－	神戸大学	教授	家森 信善
	論文	就業構造の変化が、生命保険の加入行動に及ぼした影響に関する実証分析	信州大学	教授	広瀬 純夫
	論文	契約前発病不担保条項と告知義務の規律	北海道大学	教授	山本 哲生
	論文	相続税の基礎控除の意義再考	拓殖大学	教授/ 税理士	安部 和彦
	論文	医療保険の不正請求への倫理的要因の関与 －新型コロナウイルス流行期の消費者アンケート調査の紹介－	明治大学 明治大学	教授 教授	中林 真理子 浅井 義裕
	論文	少額短期保険業者の生損保兼営と効率性	中京大学	教授	小林 毅
	論文	就業不能保険のテレマティクス・タリフと剰余金配当 －ドイツ連邦通常裁判所 (BGH) 2024年6月12日判決を素材にして	神奈川大学	教授	清水 耕一
	論文	保険市場における市場規律を阻害する要因に関する考察 －市場規律の視点から代理店の役割に対する小考－	関西大学	教授	徳常 泰之
	論文	保険会社の目的関数と社会厚生 －保険会社の相対規模重視は社会的に見て望ましいか？－	同志社女子大学	教授	大倉 真人
	論文	少子高齢化社会における生命保険の役割 －必要な保障は変化するか－	愛知学院大学	准教授	神田 恵未
	論文	遺伝子検査・遺伝性疾患・先天性障害と私保険	関西大学	教授	原 弘明
	論文	ドイツ権利失効法理の再考と重大事由解除の理論的根拠	北海道大学	教授	三宅 新
論文	生命保険信託を活用したスキームの検証 －特に信託財産の適格性問題と信託受益者のモラル・リスクの規制問題を中心に	大東文化大学	准教授	王 学士	

発刊号 (発行月)	種別	タイトル	所属	役職	氏名
234号 (3月)	論文	非EU圏におけるIFRS 9/17およびICSの導入状況： 英語圏と東アジア諸国の比較検討	静岡県立大学	教授	上野 雄史
	論文	事故保険における急激性要件、外来性要件の地位 —英国傷害保険におけるaccident概念からの示唆—	中京大学	教授	土岐 孝宏
	論文	子どもを被保険者とする死亡保険契約の自主規制 と富裕世帯の加入行動の変化	関西大学 神戸大学大学院	教授 修士課程	原 弘明 BI HANXUAN
	論文	EU Regulation 2024/1689 (AI Act) and Life Insurance - Key Principles, Provisions, and Compliance Duties for Undertakings -	一橋大学	講師	Davide Luigi Totaro
	論文	保険金請求権の特別受益の持戻しに関する規律 —アメリカ法との比較から—	金沢大学	講師	岩城 円花
	論文	日本における生命保険の解約行動の実証分析	住友生命	上席部長代理	増井 正幸
234号 特別号 (3月)	論文	生命保険契約における被保険利益 —明治32年改正にさかのぼって—	八戸学院地域連携研究 センター	教授	福田 弥夫
	論文	保険相互会社の社員総会について —— 最高意思決定機関としての地位の確認を求め て ——	新潟大学	名誉教授	梅津 昭彦
	論文	Recent Social Security Reforms in Japan: Addressing Issues faced by Non-Regular Employees from the View of Welfare Pluralism	東京経済大学 社会保険労務士小野佳 彦事務所	教授 代表	石田 成則 小野 佳彦
	論文	生命保険会社における介護保障と介護サービスの 制度的接続 — 保障機能の拡張とサービス統合の構造 —	高千穂大学	教授	恩藏 三穂
	論文	生命保険営業におけるカスタマーハラスメントと 職場環境整備 — 営業職員保護に向けた組織的対応 —	拓殖大学	教授	宮地 朋果
	論文	危険選択の効率性と公正性の観点からの制約要因	神戸大学	教授	榭 素寛
	論文	非対面手続きによる契約者貸付における民法478条 の適用に関する検討	上智大学	教授	深澤 泰弘
	論文	第三者のためにする生命保険の特別受益該当性と 相続法理—遠山テーゼの成否をめぐる—	一橋大学	教授	得津 晶
	論文	政府および自治体における認知症への取り組みと 生命保険の役割	八戸学院大学 韓国保険研究院	准教授 首席研究員	崔 桓碩 李 尚祐
	論文	他人の生命の保険契約	上智大学	客員研究員	清水 太郎
	論文	日本における介護保険パズルの一考察 —世帯年取別の分析を通じて—	福岡大学	非常勤講師	八重島 崇宏

11. 個票データの学術的活用状況

※所属・学年は受賞時点のもの

【個票データを用いた懸賞論文 2025年度優秀論文受賞者・受賞論文】

- ・受賞者 : 黒沼 位元 氏、中島 勇真 氏、伊藤 健人 氏（いずれも明治大学 商学部3年）
- ・受賞論文 : 若者の生命保険加入行動を阻むのは心理的要因か、経済的要因か？

2025年度

第15期事業報告書

2026年6月

公益財団法人 生命保険文化センター

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1
新国際ビル3階

TEL (03) 5220-8510

URL <https://www.jili.or.jp/>